



SENSUS INFOTAINMENT

VÄLKOMMEN!

ボルボ社では、末永くお車をご愛顧いただけることを願っております。お買い上げいただいた車両は、運転者および同乗者の方々に安全で快適なドライビングをご提供できるように設計されています。ボルボ車は世界でもっとも安全な車の1つです。ボルボ車は、現在の安全・環境基準も満たしています。

ボルボ車をより一層お楽しみいただくために、オーナーズマニュアルに記載されている説明およびメンテナンス情報と本付録冊子をよくお読みになることをおすすめします。オーナーズマニュアルには、モバイルアプリ版(ボルボマニュアル)およびボルボ・カーズサポートサイト(support.volvocars.com)で利用できるウェブ版もあります。

目次

イントロダクション

イントロダクション	6
ボルボ・センサス	6
車載のデジタルオーナーズマニュアル	7
名義変更	10
Volvo Cars サポートサイト	10
Volvo ID	11

MY CAR

MY CAR	14
MY CAR - サーチパス	15
MY CAR - メニューオプション	15
MY CAR - 車両設定	17
MY CAR ドライバーサポートシステム	20
MY CAR - システムオプション	21
MY CAR - 音声設定	22
MY CAR - エアコンディショナー設定	23
MY CAR - インターネット設定	23
MY CAR インフォメーション	24

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア	26
オーディオ・メディア - 概要	27
オーディオ・メディア - システムの操作	28
画面内のシンボル	32
お気に入り	33
オーディオ・メディア - オーディオ設定について	33
オーディオ・メディア - オーディオ設定について	34
オーディオ・メディア - アドバンスドオーディオ設定について*	35
イコライザーの設定	36
オーディオ音量および自動音量コントロールの設定	36
ラジオ	36
ラジオのチューニング	37
自動ラジオチューニング	37
ラジオ放送局リスト	38
手動によるラジオのチューニング	38
ラジオ放送局のプリセット	38
トラフィックインフォメーション - TP	39
トラフィックインフォメーション	39
自動ラジオバンド更新 (AF)	40
メディアプレーヤー	40

CD/DVD	41	Bluetooth® ハンズフリー電話	55	現在のテレビ*番組の情報	79
早送り/早戻し	42	Bluetooth® ハンズフリー電話 - 概要	56	テレビ*チャンネルの信号が受信できない	79
トラックまたはオーディオファイルのランダム選択	43	電話の発信/着信	57	B-CAS	79
メディア検索	43	Bluetooth® ハンズフリー電話 - オーディオ設定	57	リモコン*	81
DVD ビデオディスクの再生およびナビゲーション	44	電話帳	58	リモコン* - 機能	82
DVD ビデオディスク再生のカメラ角度	45	電話帳 - 連絡先のクイック検索	59	リモコン* - 電池の交換	83
画像設定	46	電話帳 - 連絡先の検索	59	オーディオ・メディア - メニュー概要	84
ハードディスクドライブ(HDD)	46	音声認識	60	メニュー概要 - AM	84
メディアプレーヤー - 互換ファイル形式	47	音声認識の言語オプション	61	メニュー概要 - FM	85
AUX/USB ソケット経由の外部オーディオソース	48	音声認識のヘルプ機能	62	メニュー概要 - デジタルラジオ(DAB)*	85
AUX/USB 端子に外部オーディオ機器を接続する	50	音声認識 - 設定	62	メニュー概要 - CD/DVD オーディオ	85
外部オーディオソースのオーディオ音量の設定	50	音声認識 - 音声コマンド	63	メニュー概要 - DVD ビデオ	86
メディア Bluetooth®	51	音声認識 - クイックコマンド	63	メニュー概要 - ハードディスクドライブ(HDD)	87
Bluetooth® 機器を接続および切断する	51	音声認識 - 携帯電話	64	メニュー概要 - iPod®	88
Bluetooth® 搭載機器の登録	52	音声認識 - ラジオ	65	メニュー概要 - USB	88
Bluetooth® 機器の自動接続	53	音声認識 - マルチメディア	65	メニュー概要 - メディア Bluetooth®	88
別の Bluetooth® 機器に接続を変更する	54	オンライン車両	66	メニュー概要 - AUX	89
Bluetooth® 搭載機器の接続の切断	54	カーモデム*	69	メニュー概要 - Bluetooth® ハンズフリー	89
Bluetooth® 機器の削除	55	アプリ	71	メニュー概要 - ウェブブラウザ	90
		ウェブブラウザ	72	メニュー概要 - テレビ*	92
		テレビ*	75	ライセンス - オーディオ・メディア	92
		テレビ*チャンネル/プリセットリスト	78		
		テレビ* - 再生オプション	78		

型式認定 - オーディオ・メディア

96

50 音順索引

50 音順索引

99

イントロダクション

イントロダクション

この追補版は、通常の車両オーナーズマニュアルの補足説明です。

車両の機能についてご不明な点がある場合、最初にオーナーズマニュアルをお読みください。さらに質問がある場合、ボルボディーラー、またはボルボ・輸入元のお客様相談室にお問い合わせください。

この追補版に記載されている仕様、デザイン、図は参考です。製造者（メーカー）が予告なく変更する場合があります。

© Volvo Car Corporation

オプション/アクセサリー

このオーナーズマニュアルでは、オプション/アクセサリーには必ず*マークが付いています。

追補版には、標準装備の他に、オプション装備（メーカーオプション）やアクセサリー装備（ディーラーオプション）などについても記載されています。

追補版に記載されていても、車両にその装備がない場合もあります。車両の装備は、各市場でのニーズや国、地域の法規に適合するものになっています。

標準装備またはオプション/アクセサリー装備についてご不明な点は、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

モバイル機器対応のオーナーズマニュアル



注意

オーナーズマニュアルはモバイルアプリケーションとしてダウンロードすることができます（一部の車両モデルおよびモバイル機器のみ）。www.volvocars.com をご覧ください。

モバイルアプリケーションは、ビデオや検索可能なコンテンツが含まれているだけでなく、セクション間の移動も簡単です。

ボルボ・センサス

ボルボ・センサスは、ボルボ体験の中心をなすシステムで、お客様を車両および外部の世界とつなぐ役割を果たします。センサスは、必要に応じて情報、エンターテインメントおよび支援の提供をします。センサスは、車での移動をさらに魅力的にする直感的な機能で構成されており、車両の所有に伴う面倒を減らします。

SENSUS

直感的なナビゲーション構成により、必要に応じて、運転の邪魔をすることなく、適切なサポート、情報およびエンターテインメントを提供することができます。

センサスは、外部とのつながりを実現する*、あらゆるソリューションに対応するとともに、車両のすべての機能を直感的に制御するシステムです。

ボルボ・センサスは、車両システムのさまざまな機能を組み合わせて、センターコンソールの画面に表示します。ボルボ・センサスがあれば、直観的なインターフェースにより、車両をパー

ソナライズすることができます。カー設定、オーディオ・メディア、エアコンディショナーなどの設定が可能です。

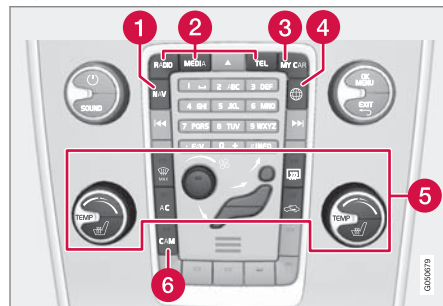
センターコンソールのボタンやコントロールスイッチ、またはステアリングホイール右側のキーパッドを使用すると、機能を起動または解除し、さまざまな設定を行うことができます。

MY CAR を押すと、City Safety、ロックおよびアラーム、自動ファン速度、時計の設定など、走行や車両の制御に関するすべての設定が表示されます。

RADIO、**MEDIA**、**TEL**、**NAV**¹ および **CAM**¹ など、関連のボタンを押すと、AM、FM、CD、DVD、TV*、Bluetooth®、ナビゲーション*、パークアシスト・カメラ*など、他のソースやシステム、機能が起動できます。

すべての機能/システムの詳細については、オーナーズマニュアルまたはその追補版の該当セクションを参照してください。

概要



センターコンソール内のコントロールパネル図には略図が使用されています。選択した装備や市場により、機能の数やボタンの配置が異なります。

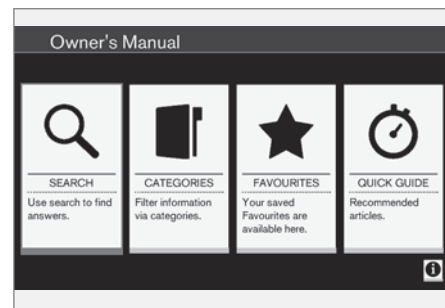
- 1 ナビゲーション* - **NAV**
- 2 オーディオ・メディア - **RADIO**、**MEDIA**、**TEL**、この追補版の該当セクションを参照してください。
- 3 機能設定 - **MY CAR**、**MY CAR** (p. 14) を参照してください。
- 4 オンライン車両 - **🌐**、この追補版の該当セクション² を参照してください。
- 5 エアコンディショナーシステム、オーナーズマニュアルを参照してください。
- 6 パークアシスト・カメラ - **CAM**¹、オーナーズマニュアルを参照してください。

車載のデジタルオーナーズマニュアル

車内³の画面でオーナーズマニュアルを読むことができます。コンテンツは検索可能で、セクション間の移動も簡単です。

デジタルオーナーズマニュアルを見る - センターコンソールの **MY CAR** ボタンを押し、**OK/MENU** を押して、**オーナーズマニュアル** を選択します。

ナビゲーションの基本操作については、「システムの操作」を参照してください。詳しくは以下を参照してください。



オーナーズマニュアル、スタートページ

1 一部の車両モデルに適用されます。

2 車両にこの機能が装備されている場合のみ情報が収録されています。

イントロダクション

- ◀ デジタル版オーナーズマニュアルの中で目的の情報を見つけるには、以下の4通りの方法があります。

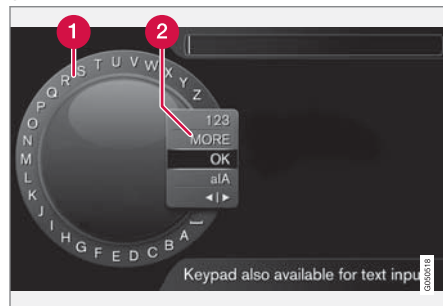
- **検索** - 項目を見つけるための検索機能
- **カテゴリ** - すべての項目がカテゴリ別に分類されています。
- **お気に入り** - ブックマークに登録したお気に入りの項目を素早く表示できます。
- **Quick Guide** - よく使う機能の項目が集められています。

デジタルオーナーズマニュアルに関する情報を入手するには、右下隅のインフォメーションシンボルを選択してください。

i 注意

走行中にデジタルオーナーズマニュアルを利用することはできません。

検索



テキストホイールによる検索

- ① 文字リスト
- ② 入力モードの変更(次の表を参照してください。)

テキストホイールを使用して、検索語(「シートベルト」など)を入力します。

1. **TUNE** を入力したい文字まで回して、**OK/MENU** を押して確定します。センターコンソールのコントロールパネルの番号や文字ボタンも使用できます。
2. 同様に順々に次の文字に進みます。

3. 入力モードを数字や特殊文字に変える場合、または検索を実行するには、**TUNE** を入力モードの変更(2)のリストにあるオプションのいずれか(以下の一覧表の説明を参照)まで回し、**OK/MENU** を押します。

123/A BC	OK/MENU で文字と番号を切り替えます。
MORE	OK/MENU で特殊文字に切り替えます。
OK	検索を実行します。 TUNE を回して検索結果項目を選択し、 OK/MENU を押して項目に移動します。
a A	OK/MENU を押して、小文字と大文字を切り替えます。
◀ ▶	テキストホイールから検索フィールドに変わります。 TUNE でカーソルを動かします。 EXIT を押して、スペルミスを削除します。テキストホイールに戻るには、 OK/MENU を押します。 コントロールパネルの数字ボタンおよび文字ボタンは、検索フィールドでの編集にも使用することができます。

3 一部の車両モデルに適用されます。

番号キーで入力する



番号キー

文字の入力方法には、センターコンソールのボタン **0~9**、*****、**#**を使用する方法もあります。



例えば、**9**を押すと、バーが表示され、そのボタンに関連付けられている文字⁴(**W**、**X**、**Y**、**Z**、**9**)がすべて表示されます。ボタンを軽く押すと、カーソルがこれらの文字を移動します。

- 目的の文字でカーソルを止めると、その文字が選択され、入力ラインに表示されます。
- **EXIT**を使用すると、削除する/元に戻すことができます。

番号を入力するには、対応する番号キーを押したままにします。

カテゴリー

オーナーズマニュアルの項目は、メインカテゴリーおよびサブカテゴリーの形式に構成されています。検索性を向上させるために、同じ項目が複数の適切なカテゴリーに分類されています。

TUNEを回すとカテゴリーツリー内を移動でき、**OK/MENU**を押すとカテゴリー(選択された )または項目(選択された )が開きます。**EXIT**を押すと、前のビューに戻ります。

お気に入り

ここには、お気に入りとして保存されている項目があります。任意の項目をお気に入りとして選択する方法については、「項目内での移動」の項を参照してください。

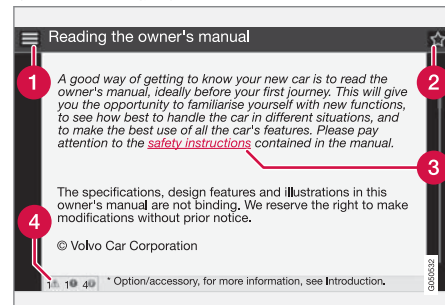
TUNEを回すとお気に入りリスト内を移動でき、**OK/MENU**を押すと項目が開きます。**EXIT**を押すと、前のビューに戻ります。

Quick Guide

ここには、車両のよく使われる機能を理解するための項目が集められています。項目はカテゴリーを使用して閲覧することもできますが、ここでは、素早く閲覧できるようにまとめられています。

TUNEを回すと Quick Guide 内を移動でき、**OK/MENU**を押すと項目が開きます。**EXIT**を押すと、前のビューに戻ります。

項目内での移動



- 1 ホーム** - オーナーズマニュアルのスタートページに移動します。
- 2 お気に入り** - 項目をお気に入りに追加/お気に入りから削除します。項目をお気に入りに追加/お気に入りに追加/お気に入りから削除するには、センターコンソールの **FAV** ボタンを押す方法もあります。
- 3 ハイライト表示のリンク** - リンクされている項目に移動します。
- 4 特別なメッセージ** - 項目に警告、重要メッセージまたは参考メッセージが含まれている場合、該当するシンボルと項目に含まれている当該メッセージの数がここに表示されます。

TUNEを回すと、リンク間の移動、または項目内でのスクロール移動ができます。画面を項目の

⁴ 各ボタンの文字は、市場/国/言語により異なることがあります。

- 先頭/末尾までスクロールした後、さらに1ステップ上/下にスクロールすると、ホームおよびお気に入りオプションが表示されます。**OK/MENU** を押すと、選択項目/ハイライト表示のリンク先にジャンプできます。**EXIT** を押すと、前のビューに戻ります。

関連情報

- Volvo Cars サポートサイト (p. 10)

名義変更

名義変更では、すべてのユーザー情報とシステム設定を工場出荷時の設定にリセットすることが重要です。

工場出荷時の設定に戻すには、センターコンソールの **MY CAR** を押して、**OK/MENU** を押し、**設定 → 工場設定にリセットする** を選択します。

ユーザー情報(アプリ、ウェブブラウザなど)がリセットされ、メニュー内の個人用設定(エアコンディショナー設定、車両設定など)が工場出荷時の設定に戻ります。

Volvo On Call, VOC* 装備車では、車両に保存されている個人用設定が消去されます。VOC の利用契約を解除する方法については、「Volvo On Call 装備車の名義変更」を参照してください。

関連情報

- MY CAR - メニューオプション (p. 15)
- Volvo ID (p. 11)

Volvo Cars サポートサイト

ボルボ・カーズのウェブサイトには、車両に関する追加情報が掲載されています。そのウェブサイトから、お客様とお客様の車両のパーソナルウェブページである My Volvo に移動することもできます。

インターネットによるサポート

URLsupport.volvocars.com を入力するか、または以下の QR コードを使用してサポートページへアクセスしてください。サポートページは、ほとんどの市場にてご利用いただけます。



サポートページへのアクセス用 QR コード

サポートページ上の情報は検索が可能で、さまざまなカテゴリ別に分けることもできます。ここでは、例えばインターネット接続サービスおよび機能、Volvo On Call (VOC)*、ナビゲーションシステム*、アプリなどに関するオプションサポートをご利用いただけます。ビデオおよびステップごとのインストラクションにより、携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する方法など、さまざまな手順をご説明しています。

サポートページからダウンロード可能な情報

地図

Sensus Navigation*装備車では、サポートページから地図をダウンロードすることができます。

モバイルアプリ

モデルイヤー 2014 年および 2015 年のボルボモデルの一部では、アプリ形式でオーナーズマニュアルをご利用いただけます。ここから VOC* アプリへアクセスすることも可能です。

旧モデルイヤー車両のオーナーズマニュアル

旧モデルイヤー車両のオーナーズマニュアルは、PDF 形式でここからご利用いただけます。Quick Guide および補足情報もサポートページからアクセスが可能です。車両モデルおよびモデルイヤーを選択して、必要なドキュメントをダウンロードしてください。

お問い合わせ

サポートページでは、カスタマーサポートおよび最寄りのボルボディーラーのお問い合わせ先をご案内しています。

インターネットでご利用可能な My Volvo⁵

お客様と車両のパーソナルウェブサイトである My Volvo ウェブ には、www.volvocars.com から移動することができます。

個人用 Volvo ID を作成して、My Volvo ウェブにログインし、サービス、契約および保証などの概要を把握してください。My Volvo ウェブには、お客様の車両モデルに対応するアクセサリやソフトウェアに関する情報もあります。

Volvo ID

Volvo ID は、さまざまなサービス⁶へアクセスするときに使用する個人用 ID です。

サービスの例：

- My Volvo - お客様とお客様の車両のパーソナルウェブサイト。
- オンライン車両* - 一部の機能およびサービスを利用するには、車両を個人の Volvo ID に登録する必要があります。例えば、インターネット上の地図サービスから住所を車両へ直接送信するサービスなどがこれに含まれます。
- Volvo On Call、VOC* - Volvo On Call モバイルアプリへのログイン時に Volvo ID が使用されます。

Volvo ID の利点


- ユーザー名 1 つとパスワード 1 つでオンラインサービスにアクセスできます。ユーザー名 1 つとパスワード 1 つを覚えておくだけです。
- 1 つのサービス (VOC など) のユーザー名/パスワードを変更すると、その他のサービス (My Volvo など) についても自動的に変更されます。

⁵ 特定市場に適用

⁶ 利用できるサービスは、時間の経過とともに変化することがあります。また、装備レベルや市場によっても異なります。

◀◀ Volvo ID の作成

Volvo ID を作成するには、個人用メールアドレスを入力する必要があります。次に、指定のメールアドレスに自動的に送信されてきたメールメッセージの指示に従って、登録を完了します。Volvo ID は、以下のサービスのいずれかを使用して作成することができます。

- My Volvo - メールアドレスを入力して指示に従います。
- オンライン車両* - Volvo ID の必要なアプリでメールアドレスを入力して、指示に従います。または、センターコンソールの接続ボタン  を2回押して、**アプリ** → **設定** を選択し、指示に従う方法もあります。
- Volvo On Call、VOC* - 最新バージョンのVOC アプリをダウンロードします。スタートページから Volvo ID の作成を選択し、メールアドレスを入力して、指示に従います。

関連情報

- Volvo Cars サポートサイト (p. 10)
- アプリ (p. 71)
- オンライン車両 (p. 66)
- 名義変更 (p. 10)

MY CAR

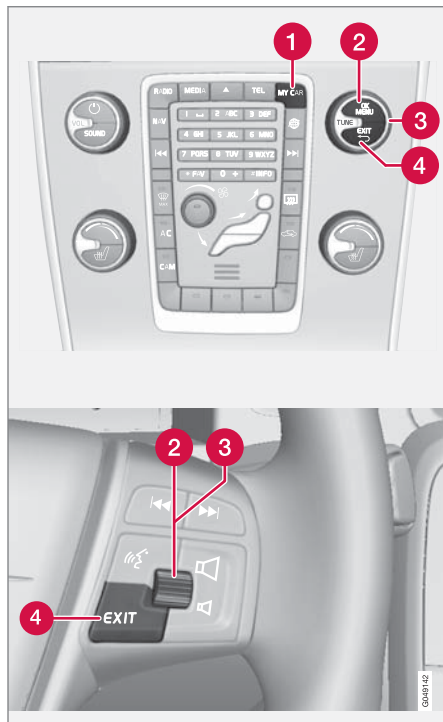
MY CAR

MY CAR は、City Safety™、ロックおよびアラーム、自動ファン速度、時計の設定など、車両の多くの機能を設定するためのメニューソースです。

一部機能は標準装備されていますが、オプション機能もあります。装備は、市場により異なります。

操作

メニュー内のナビゲーションは、センターコンソール上のボタンやステアリングホイール右側のキーパッド*を使用して操作できます。



センターコンソールのコントロールパネルおよびステアリングホイールキーパッド図には略図が使用さ

れています。選択した装備や市場により、機能の数やボタンの配置が異なります。

- ① **MY CAR** – メニューシステム MY CAR を開きます。
- ② **OK/MENU** – センターコンソールのボタンまたはステアリングホイールのコントロールダイヤルを押すと、ハイライト表示されているメニューオプションの選択/チェックマーク付け、または選択した機能のメモリーへの保存を行うことができます。
- ③ **TUNE** – センターコンソールのノブまたはステアリングホイールのコントロールダイヤルを回すと、メニューオプションを上下にスクロールできます。

④ EXIT

EXIT 機能

EXIT を軽く押したときにカーソルが置かれていた機能とメニュー階層によって、次のいずれかが発生する場合があります。

- 通話が拒否される
- 現在の機能が中断される
- 入力された文字が削除される
- 直前の選択がキャンセルされる
- メニューシステムのひとつ前の画面に戻る

EXIT を長押しすると、MY CAR の通常ビューになり、通常ビューの場合には、トップのメニュー階層(メインソースメニュー)が表示されます。

MY CAR - サーチパス

MY CAR は、時計、ドアミラー、ロックなどの車両の多数の機能を設定するメニューソースです。

現在のメニュー階層は、センターコンソール画面の上部に表示されます。メニューシステムの機能へのサーチパスは、以下の形式で指定されます。

設定 → 車両設定 → ロック設定 → ドアロック解除 → 運転席¹、次にすべて。

以下に挙げるのは、ステアリングホイールキーパッドを使用して機能にアクセスし、調整するための方法の例です。

1. センターコンソールの **MY CAR** ボタンを押します。
2. コントロールダイヤルを押します。
3. コントロールダイヤルを使用して、希望するメニュー(**設定** など)にスクロールし、コントロールダイヤルを**押し**ます。サブメニューが開きます。
4. 希望するメニュー(例えば、**車両設定**)にスクロールし、コントロールダイヤルを押します。サブメニューが開きます。
5. **ロック設定** にスクロールし、コントロールダイヤルを押します。新しいサブメニューが開きます。

6. **ドアロック解除** にスクロールし、コントロールダイヤルを押します。選択できるオプションの入ったドロップダウンメニューが開きます。
7. コントロールダイヤルを使用して、**すべてのドア** オプションと **運転席¹**、次に**すべて** オプション間を移動し、コントロールダイヤルを押します。オプションが選択されます。
8. **EXIT** を繰り返して軽く押して、1段階ずつ終了するか、しばらく押したままにして、プログラミングを終了します。

手順はセンターコンソールのボタン(p. 14)を使用するときと同じです。**OK/MENU**、**EXIT**、**TUNEノブ**を使用します。

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR - メニューオプション

MY CAR は、時計、ドアミラー、ロックなど、車両の多数の機能を設定するメニューソースです。



MY CAR の通常ビューの例

センターコンソールの **MY CAR** を押して、MY CAR の通常ビューに移動します。通常ビューでは、一部のドライバーサポートシステムの状態が画面の上側に、Start/Stop*機能の状態が画面の下側に表示されます。

OK/MENU を押すと、以下のオプションを利用できるメニューソース **My Car** が表示されます。

- **My S60¹**
- **トリップ統計**

¹ 車両モデルに応じて異なります。

- ◀ ● Drive-E²/ハイブリッド³
- タイヤ圧
- 設定
- サービス & 修理
- オーナーズマニュアル

My S60¹My Car → My S60¹

画面には、車両の全運転者サポートシステムのグループ分けが表示されます。これらはここで作動/非作動に切り替えることができます。

走行統計

My Car → トリップ統計

画面に今までの電力³と燃料の平均消費量が棒グラフで表示されます。

Drive-E²

My Car → Drive-E

ボルボ Drive-E コンセプトの一部も、ここに紹介されています。以下の項目から選択します。

- **Start/Stop**
ここには、Start/Stop 機能に関する情報が
あります。
- **ECO 運転ガイド**

経済走行に関する説明、ヒント、アドバイス
をここから確認することができます。

ハイブリッド³

My Car → ハイブリッド

車両の駆動システムに関する情報はここから確
認することができます。以下の項目から選択し
ます。

- **パワーフロー**
画面にモーターとエンジンの使用状況、およ
び駆動力の流れが表示されます。
- **ドライブモード**
各種ドライブモードの説明があります。
- **ECO 運転ガイド**
経済走行に関する説明、ヒント、アドバイス
をここから確認することができます。

タイヤ空気圧

My Car → タイヤ圧

画面には、車両のタイヤ・プレッシャー・モニ
タリングに関する情報が表示されます。このシ
ステムはここで作動/非作動を切り替えること
ができます。

設定

My Car → 設定

メニューは次のように構成されています：

メニュー階層 1

メニュー階層 2

メニュー階層 3

メニュー階層 4

ここに表示されているのは、**設定** でのメニュー
階層の最初の 4 つです。一部機能は標準装備さ
れていますが、オプション機能もあります。装
備は、市場により異なっています。

機能を起動する/**オン** か解除する/**オフ** か選択
する際には、ボックスが表示されます。

オン: 選択されているボックス

オフ: 選択されていないボックス

- **オン/オフ**を選択し、**OK**で確定します。その
後 **EXIT** を押してメニューを終了します。

² V40、V40 Cross Country、S60、S60L、V60、V60 Cross Country、XC60 に適用されます。

³ V60 Twin Engine および S60L Twin Engine に適用されます。

¹ 車両モデルに応じて異なります。

設定のメニュー

- **車両設定**、MY CAR - 車両設定 (p. 17)を参照してください。
- **運転支援システム**、MY CAR ドライバーサポートシステム (p. 20)を参照してください。
- **システムオプション**、MY CAR - システムオプション (p. 21)を参照してください。
- **音声コントロール設定**、MY CAR - 音声設定 (p. 22)を参照してください。
- **クライメート設定**、MY CAR - エアコンディショナー設定 (p. 23)を参照してください。
- **インターネット設定**、MY CAR - インターネット設定 (p. 23)を参照してください。
- **Volvo On Call**、オーナーズマニュアルを参照してください。
- **FAV キーの設定** - MY CAR で通常使用する機能を **FAV** ボタンにリンクします。お気に入り (p. 33) を参照してください。
- **情報**、MY CAR インフォメーション (p. 24)を参照してください。
- **工場設定にリセットする** - すべてのユーザーデータをリセットし、すべてのメニュー内のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

サービスと修理

My Car → サービス & 修理

ここでは、車両のサービスおよびサービス工場に関する情報と予約済みのサービス予定に関する情報が表示されます。

オーナーズマニュアル

My Car → オーナーズマニュアル

画面にデジタルオーナーズマニュアル(p. 7)が表示されます。

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - サーチパス (p. 15)

MY CAR - 車両設定

MY CAR メニューソースの車両設定メニューオプションでは、カーキーメモリーやドアのロック設定など、車両のさまざまな機能を設定します。

車両設定	
カーキーメモリー	オン オフ
ロック設定	
自動ドアロック	オン オフ
ドアロック解除	すべてのドア 運転席ドア、次にすべて



キーレスエントリーロック解除 すべてのドアロック解除 任意のドア 同じ側のドア 左右フロントドア	終了時に確認 オン オフ	アプローチライト時間 オフ 30 秒 60 秒 90 秒
音声確認 オン オフ	サイドミラー設定 ロック時にミラーを収納 オン オフ	ホームセーフタイム オフ 30 秒 60 秒 90 秒
ドアロック確認ライト オン オフ	リバースギヤで左ミラーをティルト オン オフ	トリプル方向指示灯 オン オフ
ロック解除確認ライト オン オフ	リバースギヤで右ミラーをティルト オン オフ	
ガード低減	ライト設定	
いったん有効 オン オフ	インテリアライト フロアライト アンビエントライト アンビエント色	

<p>一時的な左側交通</p> <p>オン</p> <p>オフ</p> <p>または:</p> <p>一時的な右側交通</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>コーナリングライト</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>
<p>アクティブバンディングランプ</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>タイヤ空気圧 タイヤモニター</p> <p>タイヤ空気圧の測定</p>
<p>補助ライト</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>タイヤ監視</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>
<p>アクティブハイビーム</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>	<p>スプリングの重さレベル</p> <p>低</p> <p>中</p> <p>高</p>
	<p>インフォテイメント画面の速度</p> <p>オン</p> <p>オフ</p> <p>車両設定をリセット</p> <p>車両設定 内の全メニューでは、工場出荷時に初期設定が行われています。</p>

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR ドライバーサポートシステム

MY CAR メニューソースのドライバーサポートシステムメニューオプションでは、衝突警告システムやレーン・キープ・エイドなどの機能を設定します。

運転支援システム
衝突警告
車間警告
短く
ノーマル
長く
警告音
オン
オフ
レーン逸脱警告
レーン逸脱警告
オン
オフ

スタートアップでオン
オン
オフ
感度向上
オン
オフ
レーン・キープ・エイド
レーン・キープ・エイド
オン
オフ
アシストモード
フルアシスト
ステアリングアシストのみ
バイブレーションのみ
ロード・サイン・インフォメーション
道路標識情報
オン
オフ

速度アラート
オン
オフ
ESC OFF
オン
オフ
シティーセーフティ
オン
オフ
BLIS
オン
オフ
距離アラート
オン
オフ
ドライバーアラート
オン
オフ

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR - システムオプション

MY CAR メニューソースのシステム設定メニューオプションでは、時刻や言語などの機能を設定します。

システムオプション
時間設定 コンバインド・メーター・パネルの時計はここから調節します。
24 時間時計 オン オフ
夏時間 自動 オン オフ
自動時間設定 オン オフ
場所

言語

画面およびコンバインド・メーター・パネルのテキスト用言語を選択します。

言語：ドライバーディスプレイ

コンバインド・メーター・パネルのテキスト用言語を選択します。

距離および燃料の単位

MPG (US)

MPG (UK)

km/l

l/100km

温度単位

摂氏

華氏

外気温の表示単位とエアコンディショナーシステムの設定を選択します。



<p>スクリーンセーバー</p> <p>オン</p> <p>オフ</p> <p>このオプションを選択した場合には、ディスプレイをしばらく使用しないと、現在の画面内容が消えて、黒色画面に変わります。</p> <p>画面のボタンやコントロールスイッチのいずれかを操作すると、現在の画面内容に戻ります。</p>
<p>ヘルプテキストを表示</p> <p>オン</p> <p>オフ</p> <p>このオプションを選択すると、現在画面に表示されている内容のディスプレイテキストが表示されます。</p>
<p>システムオプションをリセット</p> <p>システムオプション 内の全メニューでは、工場出荷時に初期設定が行われています。</p>

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR - 音声設定

MY CAR メニューソースの音声設定メニューオプションでは、音声チュートリアルやボイスコントロールのコマンドリストなどの機能を設定します。

音声コントロール設定	参照
チュートリアル	(p. 62)
コマンドリスト グローバルコマンド ナビゲーションコマンド ラジオコマンド メディアコマンド 電話機コマンド ボルボのナビゲーションシステム*が装着されている場合にのみ ナビゲーションコマンド は適用されます。	(p. 63)
ユーザー設定 デフォルト トレーニング済みユーザー	(p. 62)

スピーカー適合	(p. 62)
読み出し速度 速く 中 遅く	(p. 62)

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR - エアコンディショナー設定

MY CAR メニューソースのエアコンディショナー設定メニューオプションでは、ファンの調整や再循環などの機能を設定します。

クライメート設定
自動ファン
ノーマル
高
低
内気循環タイムアウト
オン
オフ
自動リアデフロスター
オン
オフ
自動シートヒーター
オン
オフ

自動ステアリングホイールヒーター

オン

オフ

インテリア・エア・クオリティ・システム

オン

オフ

クライメート設定をリセット

クライメート設定 内の全メニューでは、工場出荷時に初期設定が行われています。

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR - インターネット設定

MY CAR メニューソースのインターネット設定メニューオプションでは、Bluetooth® や Wi-Fi などの機能を設定します。

インターネット設定	参照
接続方法： 車両モデム Bluetooth Wi-Fi なし	(p. 66), (p. 69), (p. 52)および (p. 66)
車両モデム データ使用量 ネットワークオペレータ データローミング SIM カードをロックする SIM PIN コードを変更する アクセスポイント名	(p. 69)
Bluetooth	(p. 52)
Wi-Fi	(p. 66)



車両 Wi-Fi ホットスポット	(p. 69)
車両 Wi-Fi ホットスポット オン オフ	
名前	
パスワード*	

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

MY CAR インフォメーション

MY CAR メニューソースのインフォメーションメニューオプションでは、キーの数や VIN 番号などの機能を扱います。

情報	
キー数	
車台番号	

関連情報

- MY CAR (p. 14)
- MY CAR - メニューオプション (p. 15)

オーディオ・メディア

オーディオ・メディア

オーディオ・メディアシステムはラジオ (p. 36)、メディアプレーヤー (p. 40)、テレビ* (p. 75)、および携帯電話 (p. 55) との通信オプションで構成されており、状況に応じて、音声認識による制御 (p. 60) が可能な場合があります。車両をインターネットに接続 (p. 66) し、アプリ (p. 71) を使用してオーディオのストリーム再生などができます。

情報はセンターコンソール上部の7インチ画面に表示されます。各機能は、ステアリングホイールやセンターコンソールの画面下のボタン、またはリモコン* (p. 81) で操作できます。スピーカーおよびアンプの数は、車両に搭載されているオーディオシステムにより異なります。



オーディオ・メディアシステムが作動中にエンジンを停止し、次回エンジン始動時にキーを I

以上の位置まで回すと、前回のエンジン停止時までに利用していたソース(ラジオなど)が再起動されます(キーレスドライブシステム*装備車では運転席ドアが閉じている必要があります)。

オーディオ・メディアシステムは、リモートコントロールキーがイグニッションスイッチに入っていない場合でも、オン/オフボタンを押すと1回につき15分間まで使用できます。

エンジンスターター作動中はオーディオ・メディアシステムが一時的にオフになりますが、エンジンが始動すると作動します。

注意

エンジン停止中にオーディオ・メディアシステムを使用するときは、イグニッションスイッチからリモートコントロールキーを抜いてください。これは、無駄な電池の放電を防止するためです。

Gracenote®



Gracenote、Gracenote ロゴおよびロゴタイプ、「Powered by Gracenote」および Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote, Inc. の商標または登録商標です。

Dolby Digital, Dolby Pro Logic*



G0001225

Dolby Laboratories からの実施権に基づき製造されています。Dolby, Pro Logic, MLP Lossless およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories の商標です。

Dirac Live



G000045

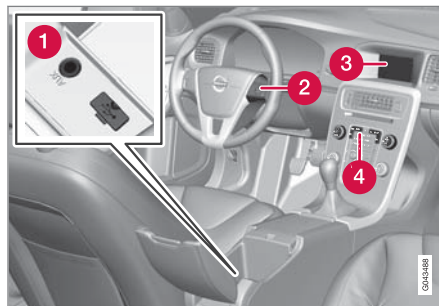
ワールドクラスのサウンドエクスペリエンスを提供するため、Dirac Live テクノロジーがサウンドの開発およびチューニングで使用されています。Dirac Live およびD シンボルは、Dirac Research AB の登録商標です。

関連情報

- オーディオ・メディア - オーディオ設定について (p. 33)

オーディオ・メディア - 概要

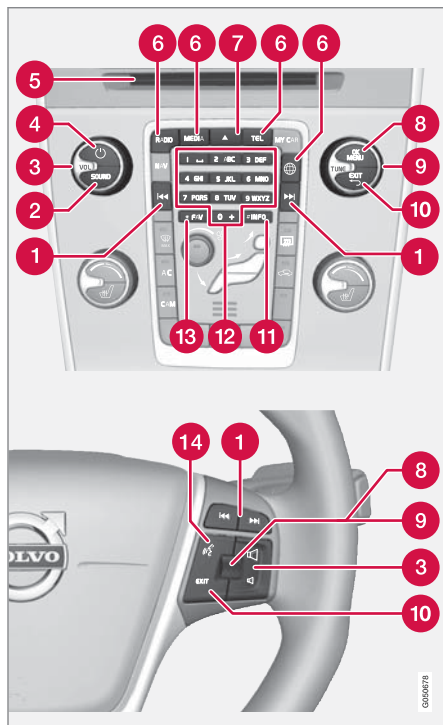
オーディオ・メディアシステムに関連する装備の概要



- 1 外付けオーディオソース (p. 48) (iPod® など)用の AUX および USB 端子
- 2 ステアリングホイールのキーパッド
- 3 画面(7 インチ)。画面内の表示は変更することができ、コンパインド・メーター・パネルの設定に従います。オーナーズマニュアルを参照してください。
- 4 センターコンソールのコントロールパネル

オーディオ・メディア - システムの操作

オーディオ・メディアシステムは、センターコンソール、ステアリングホイールのボタン、音声認識 (p. 60) またはリモートコントロール* (p. 81) で操作します。情報はセンターコンソールの画面上側に表示されます。



- ① 早戻し/早送り/検索 - 軽く押すとディスクトラック、プリセット済みのラジオ放送局¹

チャプター²を送ることができます。しばらく長押しすると、ディスクトラックの早送り/早戻し、または次の放送局をサーチすることができます。

- ② SOUND - 押すとオーディオ設定 (低音、高音など) にアクセスできます。詳しくは、「オーディオ設定について」 (p. 34) を参照してください。
- ③ VOL - 音量を調節します。
- ④ - ON/OFF/MUTE - 軽く押すとシステムが起動し、(画面が消えるまで) 長押しするとオフになります。センサシステム全体 (ナビゲーション* や電話機能を含む) は、同時に始動/停止します。軽く押すと無音 (MUTE) になります (無音になっていた場合には、音声に戻ります)。
- ⑤ CD 挿入/取り出しスロット
- ⑥ メインソース - 押してメインソース (RADIO、MEDIA など) を選択します。前回に選択されていたソースが表示されます (例: ラジオの場合、FM)。ソース使用時にメインソースボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。
- ⑦ ▲ - ディスクの取り出しディスクは取り出し位置に約 12 秒間保持されますが、それ

¹ DAB には適用されません。

² DVD ディスクのみに適用されます。

以上の時間が経過すると、安全上の理由により、再びプレーヤーに挿入されます。

- 8 **OK/MENU** - ステアリングホイール内のコントロールダイヤルまたはセンターコンソールのボタンを押して、メニュー内の選択肢を確定します。通常ビューで **OK/MENU** を押すと、選択されたソース (**RADIO** または **MEDIA** など)のメニューが表示されます。下部メニューが存在するときには、画面右側に矢印が表示されます。
- 9 **TUNE** - ステアリングホイール内のコントロールダイヤルやセンターコンソール内の

ノブを回すと、ディスクトラック/フォルダー、ラジオやテレビ* の放送局、電話の連絡先がスクロールでき、画面のオプションのナビゲートができます。

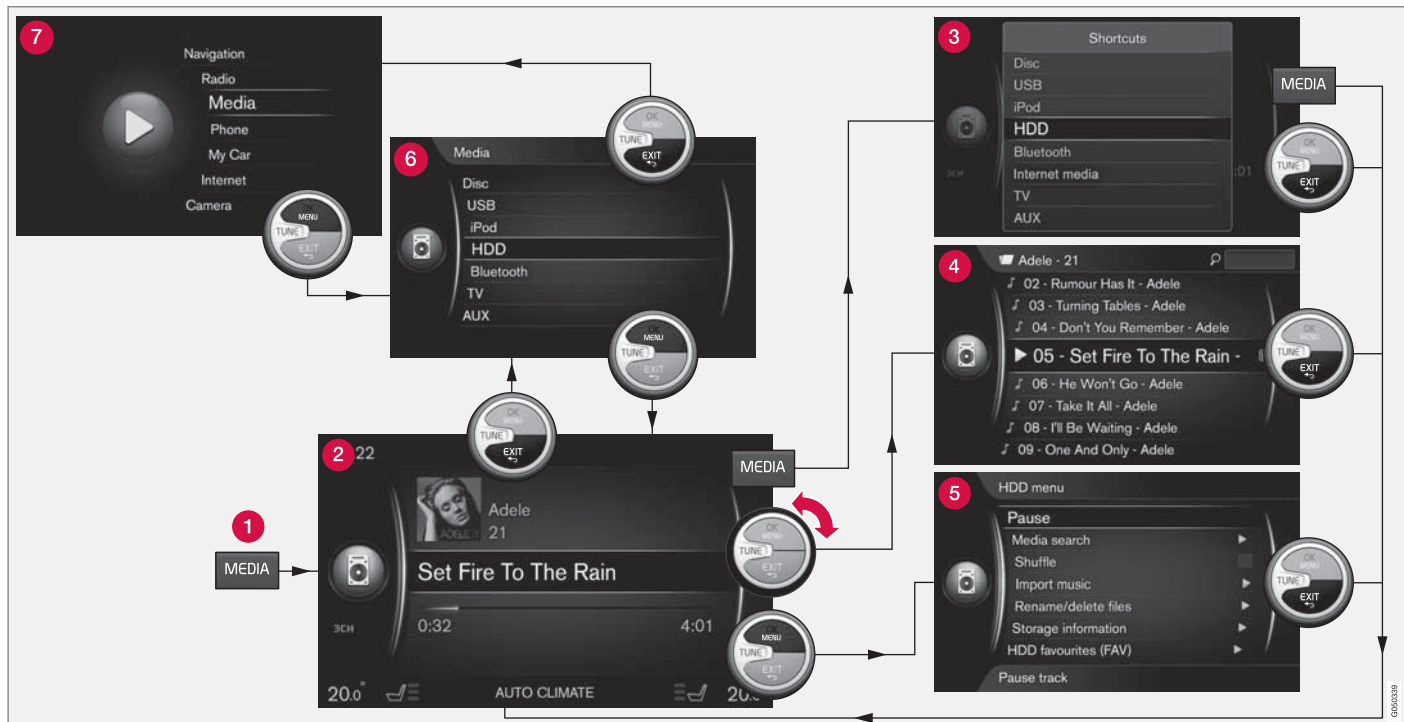
- 10 **EXIT** - **軽く押す**とメニューシステムの上部に進むか、現在の機能を中断するか、通話を中断/拒否するか、入力した文字を消去します。**長押し**すると、通常ビューが表示されます。既に通常ビューが表示されていた場合には、トップのメニュー階層(メインソースメニュー)が表示されます。これらはセン

ターコンソールのメインソースボタン(6)と同じです。

- 11 **INFO** - 情報が画面に表示しきれない場合には、**INFO** ボタンを押すと残りの情報が表示されます。
- 12 プリセットボタン、番号や文字の入力。
- 13 **FAV** - 一部のソースでは、機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り(p. 33)を参照してください。
- 14 **音声認識** - 押すと、音声認識が起動します。



メニュー



この例では車両のハードディスクドライブからメディアを再生したときのさまざまな機能のナビゲーションを示しています。

- 1 メインソースボタン** - メインソースを切り替える、またはアクティブなソース内の
- ショートカットメニューを表示するときに押します。
- 2 通常ビュー** - このソースの通常モード

- ③ **ショートカットメニュー** – よく使うメニューオプションが表示されます。
- ④ **クイックメニュー** – **TUNE** を回したときの高速モード(曲目やラジオ局などを変更するときなど)
- ⑤ **ソースメニュー** – アクティブなソース内の機能および設定が表示されます。
- ⑥ **ソース選択メニュー**³ – 選択可能なソースが表示されます。
- ⑦ **メインソースメニュー** – メインソースが表示されます。これはメインソースキーボード(1)でも選択可能です。

ソースや車両に装備されている機器、設定などにより、表示は異なります。

メインソースボタン(1) (**RADIO**, **MEDIA** など)を押してメインソースを選択します。ソースメニューを移動するには、**TUNE**、**OK/MENU**、**EXIT** のコントロールまたはメインソースボタン(1)を使用します。

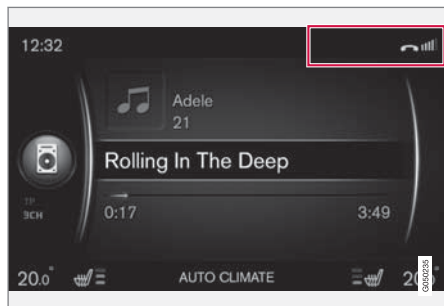
メニューバーのテキストが薄灰色で表示されている場合、そのオプションは選択できません。車両に機能が搭載されていない、ソースがアクティブではない/接続されていない、またはソースになにも含まれていないことが理由として考えられます。

利用可能な機能に関しては、オーディオ・メディア – メニュー概要 (p. 84)を参照してください。

³ 複数のソースを持つメインソースでのみ利用可能です。

画面内のシンボル

画面のアクティビティ/ステータスフィールドに表示できるシンボルの概要



アクティビティ/ステータスフィールド

アクティビティ/ステータスフィールドには、進行中のアクティビティとその状況(場合による)が表示されます。スペースに制限があるため、フィールドにすべてのアクティビティ/ステータスシンボルがツねに表示されるとは限りません。

シンボル	意味
	Bluetooth® を使用してインターネットに接続中
	Bluetooth® を使用してインターネットに接続済み

シンボル	意味
	未接続(Bluetooth®)
	Wi-Fi を使用してインターネットに接続中
	Wi-Fi を使用してインターネットに接続済み
	未接続(Wi-Fi)
	カーモデム ^A を使用してインターネットに接続中 携帯電話ネットワークの信号強度を示す。バーの下には接続の種類が表示される。
	カーモデム ^A を使用してインターネットに接続中
	未接続(カーモデム ^A) [〃]
	カーモデム ^A がローミング経由でインターネットに接続されている(外国のネットワーク内での使用向け)
	車両の現在地が送信された場合に表示される

シンボル	意味
	車両に接続されている携帯電話
	不在着信
	通話中
	未読のディスプレイテキスト
	マイクのスイッチがオフ
	消音(MUTE)
	SOS サービス ^A がアクティブ
	ON CALL サービス ^A がアクティブ

^A Volvo On Call 対応車両のみ。

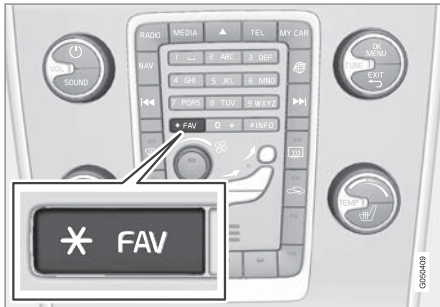
関連情報

- オンライン車両 (p. 66)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

お気に入り

よく使用する機能を **FAV** に登録できます。ラジオ、メディア、MY CAR およびウェブブラウザ(インターネットに接続した車両)のメインソース内の機能を登録させることができます。保存された機能は、**FAV** を押すだけで起動するようになります。

お気に入りに登録する



1. メインソース (**RADIO**、**MEDIA** など) を選択します。
2. ソース (**AM**、**Bluetooth** など) を選択します。
3. ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**FAV** メニューを選択します。

または、メニューが表示されるまで **FAV** ボタンを長押しします。

4. メニュー項目から **FAV** に登録させる機能を選択します。

> ソース (**AM**、**Bluetooth**® など) がオンの場合、**FAV** を軽く押すと登録された機能を利用することができます。

関連情報

- オーディオ・メディア (p. 26)
- MY CAR (p. 14)
- ラジオ (p. 36)
- メディアプレーヤー (p. 40)
- オンライン車両 (p. 66)

オーディオ・メディア - オーディオ設定について

オーディオシステムは、あらかじめ最適な音が再生されるように設定されていますが、必要に応じて調節が可能です。

最適な音の再生の設定

オーディオシステムは、デジタル信号処理技術を利用し、再生音質を最適化するように事前にチューニングされています。

車両のモデルとオーディオシステムのコンビネーションから生まれるサウンド特性に合わせて、ラウドスピーカー、アンプ、車内音響、乗員の着座位置などを考慮したチューニングが施されています。

ラジオの受信状態、および車速を考慮して音量調節を設定するダイナミック校正もあります。

オーナーズマニュアルで説明されているコントロール装置 (**低音**、**高音**、および**イコライザー**など) は、好みに応じて再生音質を調節する場合にのみご使用ください。

インターネットからのオーディオストリーミング時のオーディオ品質

データ転送量は車内で使用するサービスまたはアプリによって異なります。例えばオーディオのストリーム再生は、データ通信量が多く、良好な接続状態と信号強度が必要です。一部のアプリでは、オーディオ品質を設定することができます。高品質を選択すると、ロード時間が長くなり、音が途切れる可能性があります。安定



- ◀◀ してオーディオを楽しむためには、低めの品質を選択することをお勧めします。

関連情報

- オンライン車両 (p. 66)

オーディオ・メディア - オーディオ設定について

オーディオ・メディアシステムのオーディオ設定について。

SOUND を押し、オーディオ設定メニュー (**低音**、**高音** など) にアクセスします。 **TUNE** を回して目的の設定 (**高音** など) までスクロールし、 **OK/MENU** を押しして選択します。

TUNE を回して設定を調節し、 **OK/MENU** で設定を記憶させます。オーディオ音量は、快適な範囲内でのみ調節することができます。機能 (ナビゲーションシステムなど) がオンのときに、 **VOL** を最小/最大位置の範囲内で回すことにより、オーディオ音量を調節することができます。

TUNE を回し続けると、他のオプションにアクセスすることができます。

- **Premium sound*** - アドバンスドオーディオ設定について (p. 35)
- **低音** - 低音レベル
- **高音** - 高音レベル
- **フェーダー** - 前後スピーカーのバランス
- **バランス** - 左右スピーカーのバランス
- **イコライザー** - 周波数ごとの音量 (p. 36)
- **ナビゲーション音量** - ナビゲーションシステム*システム音声の音量

- **ボイスコントロール音量** - 音声認識 (p. 60) システム音声の音量
- **着信音量** - 接続されている携帯電話 (p. 55) 用の車両着信音の音量
- **パークアシストボリューム** - パークアシストの音量*
- **Cross Traffic Alert 音量** - CTA システムの音量*
- **音量** - 車内ノイズのオーディオ補正 (p. 36)
- **オーディオ設定をリセット** - オーディオ設定を工場出荷時の設定に戻します

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

オーディオ・メディア - アドバンスドオーディオ設定について*

ラジオやメディアなどのオーディオ設定をお好みに合わせて設定することができます。

アドバンスドオーディオ設定を使用するには、**SOUND** を押して、オーディオ設定メニューを表示させます。**TUNE** を **Premium sound*** まで回して、**OK/MENU** を押します。

サウンドステージ

車両の場所に応じて、サウンドエクスペリエンスを最適化することができます。サウンドステージは、**運転席**、**後部座席**、**車両全体** のいずれかに設定することができます。

1. **TUNE** を **サウンドステージ** まで回して、**OK/MENU** を押します。
2. **TUNE** を回してサウンドプロフィールを選択し、**OK/MENU** を押して確定します。

サラウンド

サラウンドシステムはオン/オフモードに設定することができます。オンにすると、最適な音響に設定することができます。通常、**DPL II** および **PLII** が表示されます。Dolby Digital 技術を用いて録音されている場合には、再生にはこの設定が反映され、画面に **DIGITAL** が表示されます。オフが選択されている場合には、3チャンネルステレオが利用できます。

1. **TUNE** を **サラウンド** まで回して、**OK/MENU** を押します。
2. **OK/MENU** を押すと、サラウンドをオン/オフモードに設定することができます。

サラウンドシステムがオンモードのときは、サラウンドレベルを別途設定することができます。

1. **TUNE** をレベル設定まで回して、**OK/MENU** を押します。
2. **TUNE** を回してサラウンドレベルを選択し、**OK/MENU** を押して確定します。

サブウーファー

サブウーファーの音量は単独に設定することができます。

1. **TUNE** を **サブウーファー** まで回して、**OK/MENU** を押します。
2. **TUNE** を回して音量を選択し、**OK/MENU** を押して確定します。

センタースピーカー

センタースピーカーの音量は単独に設定することができます。サラウンドがオンモードのときは **DPL II 中央レベル**、オフモードのときは **3チャンネル中央レベル** が設定されます。

1. **TUNE** を **中央** まで回して、**OK/MENU** を押します。
2. **TUNE** を回して音量を選択し、**OK/MENU** を押して確定します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- イコライザーの設定 (p. 36)
- オーディオ音量および自動音量コントロールの設定 (p. 36)
- 外部オーディオソースのオーディオ音量の設定 (p. 50)

イコライザーの設定

イコライザー を設定し、各ラジオ周波数やテレビに合わせて音量を調節します。

1. **SOUND** を押して、オーディオ設定メニューにアクセスします。**TUNE** を回して **イコライザー** までスクロールし、**OK/MENU** を押しします。
2. **TUNE** を回して周波数を選択し、**OK/MENU** で確定します。
3. **TUNE** を回してオーディオ設定を調整し、**OK/MENU** を押して確定するか、または **EXIT** を使用してコマンドを取り消します。変更する他のバンドに対しても、同じ操作を繰り返してください。
4. オーディオ設定が完了したら、**EXIT** ボタンを押して確定し、通常ビューに戻ります。

関連情報

- オーディオ・メディア - アドバンスドオーディオ設定について* (p. 35)
- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

オーディオ音量および自動音量コントロールの設定

車内の騒音に対してオーディオ補正を設定します。

オーディオシステムは、走行速度に応じて自動的に音量を調節して騒音に対応します。補正レベルは、**低**、**中**、**高** または**オフ** のいずれかに設定することができます。

1. **SOUND** を押して、オーディオ設定メニューにアクセスします。**音量**まで **TUNE** を回して、**OK/MENU** を押しします。
2. **TUNE** を回してレベルを選択し、**OK/MENU** を押して確定します。

関連情報

- オーディオ・メディア - アドバンスドオーディオ設定について* (p. 35)
- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

ラジオ

AM および FM ラジオの周波数の受信が可能です。

オンライン車両 (p. 66) では、インターネットラジオを聞くことができます。アプリ (p. 71) を参照してください。



ラジオ機能のコントロール

ラジオの操作方法については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション (p. 28) を参照してください。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33) を参照してください。

AM/FM ラジオ

- ラジオのチューニング (p. 37)
- ラジオ放送局のプリセット (p. 38)

インターネットラジオ

- アプリ (p. 71)

関連情報

- メニュー概要 - AM (p. 84)
- メニュー概要 - FM (p. 85)

ラジオのチューニング

ラジオは現在受信している信号がもっとも強いラジオ放送局のリスト (p. 38) を自動的に作成します。

自動ラジオチューニング (p. 37) は、作成された放送局リストを使用します。手動ラジオチューニング (p. 38) を行うこともできます。

チューニングを行う場合、自動または手動に設定することができます。

1. FM ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**条件別でラジオ局を同調**の順に選択します。
2. **TUNE** を **ステーションリスト** または **マニュアルチューニング** にし、**OK/MENU** で選択します。

注意



受信できるかどうかは、信号の強さと質の両方に影響されます。トランスミッションは高い建物や放送局からの距離など、さまざまな要因の影響を受けます。受信状態は、現在地によっても異なります。

自動ラジオチューニング

ラジオは自動ラジオチューニングが使用するラジオ放送局のリスト (p. 38) を自動的に照合します。

自動ラジオチューニングに設定 (p. 37) している場合は、通常ビューと放送局リストでチューニングが可能です。

通常ビューでのラジオチューニング

1. FM モードで、センターコンソール(またはステアリングホイールキーパッド)の  を軽く押します。
 - ＞ ラジオが前/次の登録放送局に切り替わります。
2. FM モードでセンターコンソール(またはステアリングホイールキーパッド)の  を長押しします。
 - ＞ ラジオが利用可能な前/次の放送局に切り替わります。

放送局リストでのラジオチューニング

1. FM ソースの通常ビューで、**TUNE** を回し、**FM ステーションリスト** を表示させます。
2. **TUNE** を放送局まで回し、**OK/MENU** で選択します。

放送局リストで自動チューニングと手動ラジオチューニング (p. 38) を切り替えるには、センターコンソールの **INFO** を押します。

ラジオ放送局リスト

ラジオは現在受信している信号がもっとも強いラジオ放送局のリストを自動的に作成します。この機能により、ラジオ局やその周波数がわからない地域を走行中も放送局を見つけることができます。

自動ラジオチューニング(p. 37)は作成された放送局リストを使用します。

① 注意

このリストには、現在受信している放送局の周波数しか表示されません。選択したバンドの全無線周波数を表示するわけでは**ありません**のでご注意ください。

手動によるラジオのチューニング

ラジオは自動的にラジオ放送局リスト(p. 38)を作成しますが、手動によるラジオのチューニングを行うことも可能です。

手動によるラジオのチューニングに設定(p. 37)している場合は、通常ビューと周波数リストでチューニングが可能です。

通常ビューでのラジオチューニング

1. FM モードでセンターコンソール(またはステアリングホイールキーパッド)の **◀▶** を軽く押します。
 - ▶ ラジオが前/次の登録放送局に切り替わります。
2. FM モードでセンターコンソール(またはステアリングホイールキーパッド)の **◀▶** を長押しします。
 - ▶ ラジオが利用可能な前/次の放送局に切り替わります。

周波数リストでのラジオチューニング

1. FM ソースの通常ビューで、**TUNE** を回し、**FM チューニング** を表示させます。
2. **TUNE** を周波数まで回し、**OK/MENU** で選択します。

周波数リストで手動チューニングと自動ラジオチューニング(p. 37)を切り替えるには、センターコンソールの **INFO** を押します。

ラジオ放送局のプリセット

よく聞くラジオ放送局を簡単に選択するためのプリセット機能です。



放送局のプリセット

AM⁴/FM ラジオ

バンド(AM など)毎に、10 局まで放送局をプリセットできます。

登録された放送局は、プリセットボタンで選択します。

1. 放送局を選局します(ラジオのチューニング(p. 37)参照)。
2. プリセットボタンの1つを数秒間長押しします。プリセットされたボタンが使用できるようになります。

⁴ V60 Twin Engine および S60L Twin Engine には適用されません。

事前に選択されたチャンネルのリストは画面に表示されます。

- オン/オフするには、AM/FM ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**表示 → プリセット**の順に選択します。

利用可能な放送局をプリセットに自動保存する

- 聴取可能な放送局をプリセットに自動保存するには、ラジオ放送局ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**自動プリセット登録**を選択します。

トラフィックインフォメーション - TP

この機能は、設定されているラジオ放送局の RDS ネットワーク内のトラフィックインフォメーションの割り込み受信を行います。

TP シンボルにより、この機能がオンであることがわかります。トラフィックインフォメーションを発信している放送局がリスト内にある場合、表示 **TP** が明るく点灯し、それ以外の場合 **TP** はグレー表示になります。

- オン/オフするには、FM ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**TP** の順に選択します。

トラフィックインフォメーション

トラフィックインフォメーションを検索しません。

トラフィックインフォメーションを受信すると選局されます。その後、トラフィックインフォメーションが選択される前のモードに戻ります。トラフィックインフォメーションを中断するには、**EXIT** を押します。トラフィックインフォメーションの受信がない場合は、検索が完了するとトラフィックインフォメーションを選択する前のモードに戻ります。

- トラフィックインフォメーション放送の検索を開始するには、ラジオソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**交通情報** を選択します。

関連情報

- ラジオ (p. 36)

自動ラジオバンド更新 (AF)

この機能は、もっとも強い電波を発信している放送局を自動的に選局するもので、FM ラジオを対象に使用することができます。

もっとも強い電波を発信している放送局を探すには、FM バンド全域を検索する場合があります。

設定されているラジオ放送局をプリセット (p. 38) として保存すると、自動ラジオバンド更新がオンの場合でも、この機能は放送局を変更しません。

- オン/オフするには、FM ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**代替周波数**の順に選択します。

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーでは、CD/DVD ディスクや AUX/USB 端子に接続した外部オーディオソースからオーディオやビデオが再生できます。または Bluetooth® を使用して外付け機器のオーディオファイルを無線でストリーム (p. 51) 再生することができます。一部のメディアプレーヤーでは、テレビ*の視聴や、Bluetooth® を介して携帯電話で通信 (p. 55) するオプションが使用できます。

ディスク/USB⁵ から車両のハードディスクドライブ (HDD) (p. 46) に音楽をコピーすることができます。

オンライン車両 (p. 66) では、インターネットラジオやオーディオブックを聞いたり、音楽サービスを利用したりすることができる場合があります。アプリ (p. 71) を参照してください。



メディアプレーヤーのコントロール

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション (p. 28) を参照してください。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33) を参照してください。

Gracenote MusicID®

Gracenote MusicID® は、音楽認識の業界標準です。この技術は、CD、記憶メディア上のデジタル音楽ファイル、およびインターネット上のミュージックサービスを識別し、カバーおよび音楽情報を配信するために使用されます。

⁵ 市場に応じて異なります。

関連情報

- オーディオ・メディア (p. 26)
- 音声認識 - 携帯電話 (p. 64)
- リモコン* (p. 81)
- メディアプレーヤー - 互換ファイル形式 (p. 47)

CD/DVD

メディアプレーヤー(p. 40)では、市販の録音済み CD/DVD ディスクや個人作成の CD/DVD ディスクの再生が可能です。

メディアプレーヤーは以下に列挙されている主要タイプのディスクやファイルをサポートし、再生できます。

- 市販の録音済み CD/DVD ディスク (CD/DVD オーディオ)
- 市販の録画済み DVD-Video ディスク (DVD Video)
- オーディオファイルを収録して作成した CD-/DVD ディスク

対応形式についての詳細は、「互換ファイル形式」(p. 47)を参照してください。

再生可能なディスクは、収録ファイル数が 5,000 個(プレイリストを含む)以下のディスクです。

① 注意

レコード会社によって著作権保護されている一部のオーディオファイルや、個人でコピーしたオーディオファイルは、このプレーヤーにはロードできません。

ディスク⁶から車両のハードディスクドライブ (HDD) (p. 46)に音楽をコピーし、そこから音楽を再生することができます。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33)を参照してください。

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション(p. 28)を参照してください。詳しくは以下を参照してください。

CD/DVD オーディオの再生およびナビゲーション

ディスクソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**TUNE** を回して、ディスクのトラック構成にアクセスします。**TUNE** を回して構成内を移動します。

OK/MENU を押すとトラックの再生が開始されます。

作成した CD/DVD ディスクの再生およびナビゲーション

オーディオ/ビデオファイルを含むディスクがプレーヤーに挿入されると、ディスクのフォルダー構造を読み込む必要があります。ディスクの品質および情報量により、再生開始まで若干時間がかかる場合があります。

⁶ 特定市場。

- ◀◀ ディスクソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**TUNE** を回して、ディスクのフォルダー構成にアクセスするか、またはカテゴリーを閲覧します。**TUNE** を回して構成内を移動し、**OK/MENU** でフォルダーを選択します。**EXIT** を使用すると、構成内を戻ることができます。

OK/MENU を押すとファイルの再生が開始されません。

ひとつのファイルの再生が終了すると、同じフォルダー内にある別のファイルの再生が始まります。現在再生中のフォルダーにあるファイルがすべて再生されると、自動的にフォルダーが変更されます。

DVD ビデオの再生およびナビゲーション

DVD ビデオについては、DVD ビデオディスクの再生およびナビゲーション (p. 44) を参照してください。

メディア検索

機器内の音楽を検索するオプションがあります。この検索は、USB、ディスクおよびハードディスクドライブが対象です。詳しくは、検索機能 (p. 43) を参照してください。


関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- 早送り/早戻し (p. 42)
- トラックまたはオーディオファイルのランダム選択 (p. 43)


- メニュー概要 - CD/DVD オーディオ (p. 85)
- メニュー概要 - DVD ビデオ (p. 86)

早送り/早戻し

オーディオファイルやビデオファイルを早送り/早戻しすることができます。⁷

 ボタンを長押しして、オーディオファイルやビデオファイルを早送り/早戻しします。

オーディオファイルの早送り/早戻しの速さは一定ですが、ビデオファイルの早送り/早戻しの速さは数段階に変えることができます。

 ボタンを複数回押しすと、ビデオファイルの早送り/早戻しの速さが上昇します。ボタンをはなすと、通常の再生スピードに戻ります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

トラックまたはオーディオファイルのランダム選択

この機能は、トラック/オーディオファイルをランダムに再生します。⁸

選択したソースでトラック/オーディオファイルをランダムに再生するには：

1. 選択したソースの通常画面で **OK/MENU** を押します。
2. **TUNE** をランダム再生に回します。
3. **OK/MENU** を押して、この機能を起動/解除してください。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- メディア Bluetooth® (p. 51)

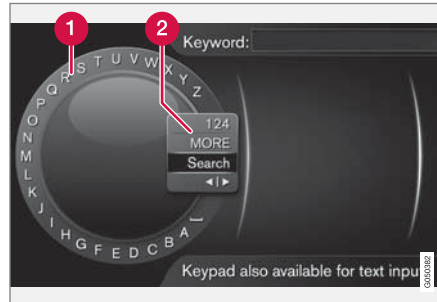
メディア検索

機器内の音楽を検索するオプションがあります。検索は USB (p. 48)、ディスク (p. 41)、ハードディスク (p. 46) 内で実行されます。

メディア検索はソース **ディスク**、**USB** および **HDD** の通常ビューで使用できます。

検索を開始するには、ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**メディア検索** を選択します。

検索機能



テキストホイールによる検索

- 1 文字リスト
- 2 入力モードの変更(次の表を参照してください)。

テキストホイールを使用して、検索語を入力します。

1. **TUNE** を入力したい文字まで回して、**OK/MENU** を押して決定します。センターコンソールのコントロールパネルの番号や文字キーも使用できます。
入力モードを数字や特殊文字に変えたり、結果リストに進む場合には、**TUNE** を入力モードの変更(2)のリストにあるオプションのいずれか(以下の一覧表の説明を参照)まで回し、**OK/MENU** を押します。
2. 同様に次の文字に進みます。
3. 目的の検索語を入力後、**検索** を選択します。
> 検索が実行されます。検索結果が表示され、アーティスト、アルバム、トラック、ジャンル、年、作曲者のカテゴリでグループ化されます。
4. **TUNE** をカテゴリまで回し、**OK/MENU** を押します。
5. **TUNE** を回すと、メディアを選択でき、**OK/MENU** を押すと、再生が始まります。

⁷ CD/DVD*ディスク、USB、iPod®のみ。

⁸ DVD ビデオには使用できません。AUX/USB 端子を使用した外部オーディオソースについては、USB および iPod® のみに使用できます。すべての携帯電話には対応していません。



123/A BC	OK/MENU で文字と番号を切り替えます。
MORE	OK/MENU で特殊文字に切り替えます。
検索	メディア検索を実行します。
◀ ▶	<p>テキストホイールから キーワード⁹ : フィールドに変わります。TUNE でカーソルを動かします。誤入力を削除するには EXIT を押します。テキストホイールに戻るには、OK/MENU を押します。</p> <p>コントロールパネルの数字および文字キーは、キーワード⁹ : フィールドでの編集にも使用することができます。</p>

EXIT を1回短く押すと、入力した文字が削除されます。**EXIT** を長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

番号キーで入力する



番号キー

文字の入力方法には、センターコンソールの**0**~**9**、*****、**#**キーを使用する方法もあります。

例えば、**9**を押すと、パーが表示され、そのボタンに配置されている文字⁹(**W**、**x**、**y**、**z**、**9**)がすべて表示されます。ボタンを短く押すと、カーソルがこれらの文字を移動します。

- 目的の文字にカーソルを合わせると、その文字が入力ラインに表示されます。
- **EXIT** で、削除/変更できます。

番号を入力するには、該当する番号キーを長押しします。

DVD ビデオディスクの再生およびナビゲーション

DVD ビデオディスクを再生すると、ディスクメニューが画面に表示されることがあります。ディスクメニューによって、字幕や言語の選択、シーンの選択などの追加機能や設定にアクセスできます。

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション(p. 28)を確認してください。詳しくは以下を参照してください。

① 注意

ビデオ映像は、車両が静止しているときにしか表示されません。走行中には映像は表示されず、**走行中は視聴できません** が画面に表示されますが、音声の出力は継続されます。車両がほぼ停止すると、映像は再表示されます。

⁹ 各ボタンの文字は、市場/国/言語により異なることがあります。

DVD ビデオディスクメニューのナビゲーション



DVD ビデオディスクメニューのナビゲーションは、上図の通り、センターコンソールの番号キーを使って行います。

チャプターまたはタイトルの変更

TUNE を回してチャプターのリストにアクセスし、ナビゲートします(映画が再生中の場合は、一時停止となります)。**OK/MENU** を押してチャプターを選択してください。この動作によっても、選択したチャプターの冒頭に戻ることができます(映画が再生中だった場合には、最初に戻ります)。**EXIT** を押すと、タイトルリストが表示されます。

タイトルリスト内のタイトルは、**TUNE** を回して選択でき、**OK/MENU** で確定できます。この動作によっても、チャプターリストに戻ることができます。**OK/MENU** を押すと、チャプターのスター

ト位置から再生することができます。**EXIT** を使って選択した内容をキャンセルすると、元の位置に戻ります(選択は一切なされません)。

センターコンソールまたはステアリングホイールのキーパッド **◀▶** を使用しても、チャプターを選択することができます。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- DVD ビデオディスク再生のカメラ角度 (p. 45)
- 早送り/早戻し (p. 42)
- トラックまたはオーディオファイルのランダム選択 (p. 43)
- メディアプレーヤー - 互換ファイル形式 (p. 47)

DVD ビデオディスク再生のカメラ角度

DVD ビデオディスクがこの機能に対応している場合には、特定の場面をどのカメラ位置で再生するか、選択することができます。

- ディスクソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**高度な設定 → アングル**の順に選択します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

画像設定

画面設定で輝度やコントラストを調節することができます(停車中)。

1. 再生モードで、**OK/MENU** を押し、**画質調整** を選択して、**OK/MENU** で確定します。
2. **TUNE** を調節オプションに回し、**OK/MENU** で確定します。
3. **TUNE** を回して設定を調節し、**OK/MENU** で確定します。

設定リストに戻るには、**OK/MENU** または **EXIT** を押します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- オーディオ・メディア (p. 26)

ハードディスクドライブ(HDD)

ディスク/USB¹⁰ から車両のハードディスクドライブ(HDD)に音楽をコピーして、音楽を再生することができます。

対応形式については、互換ファイル形式 (p. 47)を参照してください。

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション(p. 28)を参照してください。詳しくは以下を参照してください。

ハードディスクドライブへの音楽のコピー

フォルダーには  シンボルが表示されません。

1. ハードディスクドライブソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**ディスクから/USBから** のコピーを選択します。
2. コピーの対象、**続行** の順に選択します。

3. コピーした音楽の保存先の**インポートするフォルダーを選択**、**選択したフォルダーにインポートを開始** を選択します。

▶ **ディスクからミュージックをインポート中/USBからミュージックをインポート中**

転送が終了するまで、ディスク/USBメモリーを取り外さないください - **音楽ファイルのインポート完了**。

注意

USBからコピーする場合、フォルダーの中には音楽ファイル(ルートにある場合など)は表示されません。これらのトラックは、**すべてのトラック** のインポートを選択するか、またはファイルをフォルダーにダウンロードすることにより、インポートすることができます。

システムはサブフォルダーで最大8階層までの音楽をコピーできます。

ハードディスクドライブにコピーできるファイル形式

CD/DVD ディスク : mp3、wma、aac

USB : mp3、mp4、wma、aac、m4a、m4b

¹⁰ 市場に応じて異なります。

フォルダーまたはファイルの名前変更/削除

1. ハードディスクドライブソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**ファイル名の変更/削除** を選択します。
2. フォルダーまたはファイルを選択し、**OK/MENU** を押し、**名前変更** または **削除** を選択します。
3. テキストホイールを使用して、新しい名前、**保存** の順に入力します。

ファイル名を他のファイルと同じ名前に変更することはできません。他と同じ名前を使用すると、古い名前のままになります。

再生とナビゲーション

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33) を参照してください。

再生順序

再生はリスト順に行われます。再生順序をランダムにするには、ハードディスクドライブソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**ランダム再生** を選択します。

メディア検索

機器内の音楽を検索するオプションがあります。この検索は、USB、ディスクおよびハードディスクドライブが対象です。詳しくは、検索機能 (p. 43) を参照してください。

記憶容量情報

ハードディスクドライブの容量と使用状況を確認するには、ハードディスクドライブソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**HDDの情報** を選択します。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 40)
- メニュー概要 - ハードディスクドライブ (HDD) (p. 87)

メディアプレーヤー - 互換ファイル形式

メディアプレーヤーはさまざまなファイル形式に対応しています。以下の一覧表の形式に互換しています。

CD/DVD ディスクの互換ファイル形式

i 注意
デュアルフォーマットの両面ディスク (DVD Plus、CD-DVD フォーマット) は、通常の CD ディスクより厚いため、再生できず、不具合が生じる場合があります。
1 枚の CD に MP3 形式と CDDA 形式のトラックが混在する場合には、MP3 形式はすべて無視されます。

オーディオフォーマット	CD オーディオ、mp3、wma、aac、m4a
ビデオフォーマット	DVD ビデオ

USB ソケット使用の互換ファイル形式

このシステムは以下の一覧表に含まれているオーディオおよびビデオファイルをサポートして、USB ソケット経由で再生できます。

オーディオフォーマット	mp3、mp4、wma、aac、m4a、m4b
ビデオフォーマット	-

MP3 ファイル形式のオーディオ仕様

形式	kHz	kbps
MPEG-1/Audio	32	32-320 ^A
	44.1	32-320 ^A
	48	32-320 ^A
MPEG-2/Audio	16	8-160
	22.05	8-160
	24	8-160
MPEG-2.5/Audio	8	8-64
	11.025	8-64
	12	8-64

^A 144 kbps には適用されません。

.wma ファイル形式のオーディオ仕様

ファイルを再生するためには、以下の条件を満たす必要があります。

WMA バージョン	8. x、9. x、10. x、Pro

.aac ファイル形式のオーディオ仕様

ファイルを再生するためには、以下の条件を満たす必要があります。

オーディオフォーマット	MPEG-2 および MPEG-4
オーディオサンプリングレート	8-96 kHz
音声チャンネル(ch)	1ch および 2ch

.wav ファイル形式のオーディオ仕様

ファイルを再生するためには、以下の条件を満たす必要があります。

オーディオサンプリングレート	44.1 kHz 以下
音声チャンネル(ch)	1ch および 2ch
オーディオビットレート	16 kbps(1ch)

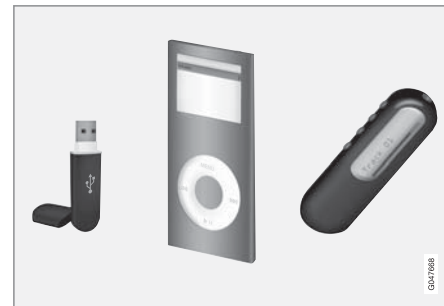
.wav ファイル形式は PCM 形式もサポートします。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- CD/DVD (p. 41)
- AUX/USB ソケット経由の外部オーディオソース (p. 48)
- ハードディスクドライブ(HDD) (p. 46)

AUX/USB ソケット経由の外部オーディオソース

iPod[®] や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースをオーディオシステムに接続 (p. 50) できます。



iPod[®]や充電電池の付いた MP3 プレーヤーは、機器が USB ソケットに接続されている間、充電されます(イグニッションがオンかエンジンが始動しているとき)。

USB¹¹ から車両のハードディスクドライブ(HDD) (p. 46)に音楽をコピーし、そこから音楽を再生することができます。

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション(p. 28)を参照してください。詳しくは以下を参照してください。

¹¹ 特定市場。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33) を参照してください。

再生とナビゲーション

USB ソケットに接続したオーディオソースは、車両のオーディオコントロールで操作できます。AUX ソケット経由で接続された機器は、車両からは制御できません。

オーディオソースの通常ビューで、**TUNE** を回してフォルダー構成に入るか、カテゴリ内を検索します。**TUNE** を回して構成内を移動し、**OK/MENU** でフォルダーを選択します。**EXIT** を押すと戻ることができます。

OK/MENU を押すとファイルの再生が開始されます。

ひとつのファイルの再生が終了すると、同じフォルダー内にある別のファイルの再生が始まります。現在再生中のフォルダーにあるファイルがすべて再生されると、自動的にフォルダーが変更されます。

メディア検索

機器内の音楽を検索するオプションがあります。この検索は、USB、ディスクおよびハードディスクドライブが対象です。詳しくは、検索機能 (p. 43) を参照してください。

USB メモリー

USB メモリーには、音楽ファイルのみ保存することをおすすめします。再生可能な形式の音楽ファイルのみが保存されている場合、システムの読み取り時間が短縮されます。

① 注意

システムは USB 2.0 および FAT32 ファイルシステムのモバイルメディアをサポートします。

① 注意

長めの USB メモリースティックを使用する際には、USB アダプターケーブルの使用をおすすめします。これは、USB 端子と接続する USB メモリースティックの機械的な磨耗を避けるためです。

技術仕様

最大ファイル数	15,000
最大フォルダー数	1,000
最大フォルダーレベル数	8
最大プレイリスト数	100
プレイリスト内の最大項目数	1,000
サブフォルダー	無制限

MP3 プレーヤー

MP3 プレーヤーによっては、本オーディオシステムがサポートしない、独自のファイルシステムを持っている場合があります。本システムで使用できるようにするには、MP3 プレーヤーを **USB Removable device/Mass Storage Device** モードに設定する必要があります。

iPod®

① 注意

このシステムは、iPod® のオーディオファイルの再生のみに対応しています。

① 注意

再生を開始するには、iPod® ソースを使用する必要があります (USB ではありません)。

iPod® をオーディオソースとして使用しているとき、車両のオーディオ・メディアシステムのメニュー構造は、iPod® のメニュー構造と同様になります。

関連情報

- 外部オーディオソースのオーディオ音量の設定 (p. 50)
- メディアプレーヤー - 互換ファイル形式 (p. 47)
- オーディオ・メディア - メニュー概要 (p. 84)

AUX/USB 端子に外部オーディオ機器を接続する

オーディオシステムに iPod®や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオ機器を接続するには、センターコンソールにある端子のいずれかを使用します。



外部オーディオ機器用接続端子

オーディオ機器を接続するには：

1. オーディオ機器をセンターコンソールの収納ボックス内にある端子のいずれかに接続します(図参照)。
2. メディアソースの通常ビューで、**MEDIA** を押し、**TUNE** を目的のオーディオソース **USB**、**iPod** または **AUX** にして、**OK/MENU** を押します。

システムが記憶メディアのファイルを読み取っている間、**USBの読み込み中** が画面に表示され

ます。フォルダ構成やファイルの数により、読み取りに時間がかかる場合があります。

ⓘ 注意

システムは、2005年以降に生産された iPod®のほぼ全機種をサポートしています。

ⓘ 注意

USB端子の損傷を防止するために、USB端子がショートした場合や、接続したUSBユニットが異常に多くの電力を消費する(こうした状況は、接続されているユニットがUSB規格に準拠していない場合に発生します)場合には、USB端子が遮断されます。不具合が続いて発生しない限り、イグニッションが再始動されると、USB端子は再び機能します。

関連情報

- AUX/USB ソケット経由の外部オーディオソース (p. 48)

外部オーディオソースのオーディオ音量の設定

外部オーディオソース(p. 48)の音量を設定します。外部オーディオソースの音量が大きすぎる場合や小さすぎる場合には、音質が低下することがあります。

外部オーディオソース(MP3プレーヤーや iPod®など)を AUX 端子に接続すると、それらのオーディオソースの音量レベルは、内部のオーディオソース(ラジオなど)の音量レベルと異なっている場合があります。このような場合は、AUX 入力の音量を調節してください。AUX モードの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**AUX 入力**の順に選択して、音量設定 **標準** または **ブースト** を選択します。

ⓘ 注意

外部オーディオソースの音量が大きすぎる場合や小さすぎる場合には、音質が低下することがあります。オーディオ・メディアシステムが AUX モードのときにプレーヤーを充電すると、音質にも悪影響が出る場合があります。この場合、プレーヤーを 12V 電源ソケットで充電しないでください。

関連情報

- オーディオ・メディア - アドバンスドオーディオ設定について* (p. 35)
- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メディア Bluetooth®

車両のメディアプレーヤーには、Bluetooth®が装備されており、携帯電話やPDAなどBluetooth®が付いた外付け機器から、ストリーミングオーディオファイルを無線で再生することができます。

まず、機器を車両に登録して接続する (p. 52) 必要があります。

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション (p. 28) を参照してください。詳しくは以下を参照してください。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33) を参照してください。

再生とナビゲーション

オーディオのナビゲーションおよび操作は、センターコンソールのボタンまたはステアリングホイールのキープッドから行うことができます。外部機器によっては、機器のトラックを変更することも可能です。

携帯電話が車両に接続されているときには、携帯電話の一部の機能を遠隔操作で制御することもできます。Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55) を参照してください。メインソース **TEL** および **MEDIA** を切り替えると、各ソースの機能を管理できます。

① 注意

Bluetooth®メディアプレーヤーは、AVRCP (オーディオ/ビデオ リモートコントロールプロファイル) および A2DP (アドバンスオーディオディストリビューションプロファイル) がサポートされている必要があります。AVRCP バージョン 1.3、A2DP 1.2 を使用するようにプレーヤーを設定してください。これ以外では、一部の機能が利用できません

市場に出回っている携帯電話や外部メディアプレーヤーのすべてが、車両のメディアプレーヤーの Bluetooth®機能に対応しているわけではありません。対応している電話および外部メディアプレーヤーについては、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

① 注意

車両のメディアプレーヤーは、Bluetooth®機能を通してのみオーディオファイルを再生できません。

関連情報

- トラックまたはオーディオファイルのランダム選択 (p. 43)
- メニュー概要 - メディア Bluetooth® (p. 88)



Bluetooth® 機器を接続および切断する

車両には Bluetooth® が搭載されています。他の Bluetooth® 搭載機器を登録して接続する (p. 52) と、無線通信が可能です。

最大 15 台の Bluetooth® 搭載機器を登録することができます。登録は機器毎に行います。登録後は機器の Bluetooth® をオンにしておくだけで使用可能です。検知または探索可能な状態にしておく必要はありません。

Bluetooth® 機能がオンの状態で、前回接続されていた機器が接続可能範囲内にある場合は、その機器が自動的に接続されます。接続している機器名がソースの通常ビューに表示されます。別の機器を接続する場合は、**OK/MENU** を押し、機器の変更 (p. 54) を選択します。

Bluetooth® 搭載機器が作動範囲外にある場合、その接続は自動的に切断されます。機器を手動で切断するには、機器の Bluetooth をオフにします。任意の Bluetooth® 機器を車両から登録解除する場合、Bluetooth® 機器の削除 (p. 55) を選択します。登録を解除すると、車両による機器の自動探索は行われません。

Bluetooth® 搭載機器を 2 台同時に接続することが可能です。携帯電話  1 台とメディア機器  1 台の切り替え (p. 54) が可能です。



電話およびメディア機器として接続されている電話

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- メディア Bluetooth® (p. 51)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

Bluetooth® 搭載機器の登録

Bluetooth® 機器を 2 台同時に接続することができます。携帯電話 1 台とメディア機器 1 台の切り替えが可能です。また、オーディオファイルをストリーミング再生しながら携帯電話で通話することも可能です。携帯電話のインターネット接続を使用して、車両をインターネットに接続 (p. 66) することができます。

最大 15 台の Bluetooth® 搭載機器を登録することができます。登録は機器ごとに行います。登録後は機器の Bluetooth® をオンにしておくだけで使用可能です。検知または探索可能な状態にしておく必要はありません。

注意

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、電話の登録手順が中断される場合があります。その場合、いったん電話の接続を切断し (Bluetooth® 機器の削除 (p. 55) 参照)、その後再接続してください。

外部機器の接続方法は、その機器を車両と接続したことがあるかどうかで異なります。以下の接続方法は、車両に接続 (登録) した機器はなく、初めて機器を接続することを前提としています。この接続方法は携帯電話の接続について示しています。メディア機器 (p. 51) の接続も同じように可能です。ただし、メインソース **MEDIA** から起動されます。

外部機器を接続するには、車両側から機器を検索するか、機器側から車両を検索する 2 通りの方法があります。一方の方法で接続できない場合は、もう一方の方法を試してください。

画面表示が携帯電話の通常ビューではない場合は、センターコンソールの **TEL** を押します。



電話用通常ビューの例

方法 1 - 車両のシステムから外部機器を検索する

1. 外部機器の Bluetooth® をオンにして車両から検索できる状態にします。詳しくは、外部機器のマニュアル、または www.volvocars.com を参照してください。

2. 電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**新しい電話機を検索** を選択します(メディア機器の場合は **新規デバイスを検索**)。
 - ＞ 車両は接続可能な Bluetooth® 機器を検索します。検索には 1 分ほどかかることがあります。
3. 接続する Bluetooth® 機器をリストから選択し、**OK/MENU** を押します。
4. 車両の指定数字コードが外部機器のコードと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
5. 電話の連絡先およびメッセージのオプションに対して許可または拒否を選択します。
 - ＞ これで外部機器は接続されました。

接続がうまくいかない場合、**EXIT** を押し、方法 2 で機器を接続してください。

方法 2 - 外部機器の Bluetooth® 機能を使って車両を検索する

1. 電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**車両を検出可能にする** を選択して、**OK/MENU** で確定します。
2. 外部機器から Bluetooth® 搭載機器を探します。
 - ＞ 機器は接続可能な Bluetooth® 機器を検索します。検索には 1 分ほどかかることがあります。
3. 外部機器の画面で車両の名前を選択します。

4. 車両と外部機器のパスコードが一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
5. 連絡先およびメッセージの許可または拒否を電話側で選択します。
 - ＞ これで外部機器は接続されました。

外部機器が接続されると、その外部機器の Bluetooth® 名が車両の画面に表示され、その機器は車両側から操作できるようになります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)

Bluetooth® 機器の自動接続

車両に 1 台以上の Bluetooth® 機器が登録 (p. 52) されている場合、車両の始動時には、最後に接続していた機器が自動的に接続されません。

Bluetooth® 機能がオンの状態で、前回接続されていた機器が接続可能範囲内にある場合は、その機器が自動的に接続されます。前回接続されていた機器が利用できない場合は、システムは以前に接続されていた機器への接続を試みません。

別の機器を接続するには、**EXIT** を押し、新規の機器を接続する (p. 52) またはすでに登録済みの機器に変更する (p. 54) を選択します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)

別の Bluetooth® 機器に接続を変更する

複数の機器が車内にある場合には、接続機器を別の機器に変更することが可能です。車両に機器が登録 (p. 52) されている必要があります。

メディア機器を変更する

1. 外部機器の Bluetooth® 機能がオンになっていることを確認します。詳しくは、外部機器のマニュアルを参照してください。
2. Bluetooth® メディアソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**デバイスを変更** を選択します。
 - ＞ 車両は、登録されている機器を検索します。検知された外部機器は、画面にそれぞれの Bluetooth® 名で表示されます。
3. 接続する機器を選択します。
 - ＞ 外部機器が接続されます。

電話を変更する

1. 外部機器の Bluetooth® 機能がオンになっていることを確認します。詳しくは、外部機器のマニュアルを参照してください。
2. 電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**電話を変更** を選択します。
 - ＞ 車両は、登録されている機器を検索します。検知された外部機器は、画面にそれぞれの Bluetooth® 名で表示されます。

3. 接続する機器を選択します。
 - ＞ 外部機器が接続されます。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)

Bluetooth® 搭載機器の接続の切断

Bluetooth® 搭載機器が作動範囲外にある場合、その接続は自動的に切断されます。

通話中に携帯電話の接続が切れた場合は、携帯電話の内蔵マイクおよびスピーカーで通話を続けることができます。

エンジンを停止し、ドアを開ける¹² と、ハンズフリー機能が解除されます。

車両から任意の Bluetooth®機器の登録を解除する方法については、Bluetooth® 機器の削除 (p. 55) を参照してください。登録を解除すると、車両によるデバイスの自動探索は行われません。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)
- メディア Bluetooth® (p. 51)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

Bluetooth® 機器の削除

車両から Bluetooth®機器を削除(登録解除)することができます。車両はその機器を自動的に検出しなくなります。

メディア機器を削除する

Bluetooth® メディアソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**デバイスを変更** → **デバイスを削除**の順に選択します。

電話を削除する

電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**電話を変更** → **デバイスを削除**の順に選択します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)
- メディア Bluetooth® (p. 51)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

Bluetooth® ハンズフリー電話

Bluetooth® 対応の携帯電話は、無線で車両に接続することができます。



電話機能、操作の概要

まず、機器を車両に登録して接続する (p. 52) 必要があります。

携帯電話のさまざまな機能を、オーディオ、およびメディアシステムからハンズフリーで使用できます。携帯電話を車両に接続している場合でも、電話本体のキーによる操作が可能です。


携帯電話が車両に接続されているときには、電話またはその他の Bluetooth® 接続のモバイル機器からオーディオファイルを同時にストリーム再生することもできます。メディア Bluetooth® (p. 51) を参照してください。メイ

ンソース **TEL** および **MEDIA** を切り替えると、各ソースの機能を管理できます。


注意

携帯電話の機種により、ハンズフリー機能に対応しない場合があります。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

起動

TEL ボタンを軽く押すと、前回接続された電話が起動します。電話が接続されてから **TEL** を押すと、電話用によく使用されるメニューオプションが列挙されたショートカットメニューが表示されます。シンボル  は電話が接続されていることを示します。

電話をかける


1. 画面上部に  シンボルが表示され、ハンズフリー機能が電話モードになっていることを確認します。
2. 必要な番号をダイヤルするか、または、通常ビューで **TUNE** を回します。右に回すと電話帳 (p. 58)、左に回すとすべての通話履歴 (p. 57) が表示されます。
3. 選択した連絡先または通話履歴の番号に電話するには、**OK/MENU** を押します。

EXIT で通話を終了します。

¹² キーレスドライブのみ。

◀ テキストメッセージを読む¹³

車両は接続している携帯電話のテキストメッセージをミラーリングします。

接続している携帯電話がテキストメッセージを受信すると、 のシンボルが画面上部に表示されます。

1. **TEL**、**OK/MENU** の順に押して、**電話メニュー** にアクセスします。
2. **メッセージ**まで **TUNE** を回して、**OK/MENU** を押します。
3. **TUNE** を回して目的のメッセージに合わせ、**OK/MENU** を押します。
 > メッセージが画面に表示されます。
4. **OK/MENU** を押すと、メッセージメニューにアクセスでき、メッセージの送信元への電話、メッセージの削除などのオプションを選択することができます。

メインソース **TEL** が既にオンになっている場合、新しいメッセージのポップアップメニューが画面に表示されます。**OK/MENU** を1回押すと、選択したメッセージが表示されます。

ポップアップメニューおよび通知音は、**電話メニュー** → **メッセージ通知** でオフにすることができます。

注意

接続されている携帯電話のメッセージを車内で表示するには、接続時に携帯電話でミラーリングを許可する必要があります。携帯電話の機種により、以下の方法で作動させることができます。

- ポップアップボックスまたは通知の表示および許可は電話で行われます。
- 車両との Bluetooth® 接続に関する電話の設定で、情報の共有を許可します。

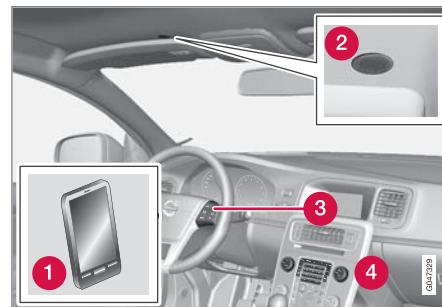
状況により、ミラーリングを有効にするためには、携帯電話の接続を一旦切ってから、車両に再接続することが必要になる場合があります。

関連情報

- Bluetooth® ハンズフリー電話 - オーディオ設定 (p. 57)
- メニュー概要 - Bluetooth® ハンズフリー (p. 89)

Bluetooth® ハンズフリー電話 - 概要

Bluetooth® ハンズフリー電話のシステム概要



システム概要

- 1 携帯電話
- 2 マイクロフォン
- 3 ステアリングホイールのキーパッド
- 4 センターコンソールのコントロールパネル

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® 機器を接続および切断する (p. 51)

¹³ サポートしない携帯電話もあります。

電話の発信/着信

通話機能

着信

- **OK/MENU** を押して応答します。この機能は、オーディオシステムが **RADIO** や **MEDIA** モードの場合にも使用できます。

拒否するか、通話を終了するには、**EXIT** を押します。

通話メニュー

電話ソースの通常ビューで、現在の通話中に **OK/MENU** を 1 回押すと、以下の機能にアクセスできます。

- **携帯電話** - かかってきた電話を、ハンズフリーから携帯電話に切り替えます。携帯電話によっては、接続が途切れる場合があります。これは異常ではありません。ハンズフリー機能が、再接続するか尋ねてきます。
- **マイクのミュート** - オーディオシステムのマイクがミュート(消音)になります。
- **ダイヤル番号** - 番号キーを使用して第三者に電話するオプション(現在の通話は保留となります)。

着信履歴

新たに接続するたびに、着信履歴がハンズフリー機能にコピーされ、接続中に更新されます。電話ソースの通常ビューで、**TUNE** を左に回すと、通話履歴が表示されます。

電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**コールリスト**の順に選択すると、接続した電話の通話履歴を確認することができます。

① 注意

接続されている携帯電話の電話帳を車内で表示するには、接続時に携帯電話でミラーリングを許可する必要があります。携帯電話の機種により、以下の方法で作動させることができます。

- ポップアップボックスまたは通知の表示および許可は電話で行われます。
- 車両との Bluetooth® 接続に関する電話の設定で、情報の共有を許可します。

状況により、ミラーリングを有効にするためには、携帯電話の接続を一旦切ってから、車両に再接続することが必要になる場合があります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- 音声認識 - 携帯電話 (p. 64)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 - オーディオ設定 (p. 57)
- 電話帳 (p. 58)

Bluetooth® ハンズフリー電話 - オーディオ設定

通話音量、オーディオシステム音量、および着信音量を調節することができます。

通話の音量

通話音量は通話中にしか変更できません。ステアリングホイールキーパッドを使用するか、**VOL** コントロールを回してください。

オーディオシステムの音量

オーディオシステムの音量は、通話中以外に **VOL** ノブで調節します。

オーディオ使用中に着信があると、自動的に無音になります。

着信音量

SOUND ボタンを押し、**TUNE** を **着信音量** まで回し、**OK/MENU** を押すと、着信音量を変更できます。**TUNE** を回して着信音量を調節し、**OK/MENU** で設定を保存します。

着信音

着信にはハンズフリー機能に内蔵された着信音が使用されます。

① 注意


一部の携帯電話では、接続されている携帯電話の着信音がオフにならず、ハンズフリーシステムの内蔵音と同時に使用されます。

◀◀ 関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

電話帳

携帯電話が接続されている場合、車両の画面にその携帯電話の電話帳を表示することができます。

電話帳を使用するには、ハンズフリー機能が電話モードになっていて、画面上部に  シンボルが表示されている必要があります。

通話中の相手が電話帳に登録されている場合、画面に通話相手の情報が表示されます。

ⓘ 注意

接続されている携帯電話の電話帳を車内で表示するには、接続時に携帯電話でミラーリングを許可する必要があります。ミラーリングを許可する方法は携帯電話の機種により異なります。以下の方法で行ってください。

- ポップアップボックスまたは通知の表示および許可は電話で行われます。
- 車両との Bluetooth® 接続に関する電話の設定で、情報の共有を許可します。

状況により、ミラーリングを有効にするためには、携帯電話の接続を一度切ってから、車両に再接続することが必要になる場合があります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

電話帳 - 連絡先のクイック検索

電話ソースの通常ビューで **TUNE** を右に回し、連絡先のリストを表示します。

TUNE を回して選択し、**OK/MENU** を押して通話を開始します。

連絡先の名前のすぐ下に表示されている番号が初期設定で選択されている電話番号です。連絡先の右側に ▼ が表示されている場合には、その連絡先に対して、複数の電話番号が登録されていることを示します。**OK/MENU** を押すと、番号が表示されます。**TUNE** を回して初期設定で選択されている以外の番号に変更してダイヤルします。**OK/MENU** を押してダイヤルします。

連絡先の名前の冒頭部分をセンターコンソールのキーパッドで入力して、連絡先リスト内を検索することができます。ボタンの機能に関しては、電話帳 - 連絡先の検索 (p. 59) を参照してください。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

電話帳 - 連絡先の検索

電話帳 (p. 58) の連絡先を検索します。



テキストホイールによる検索

- 1 文字リスト
- 2 入力モードの変更(次の表を参照してください。)
- 3 電話帳

連絡先を検索するには、電話ソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**連絡先** を選択します。

- 1 目的の文字まで **TUNE** を回し、**OK/MENU** を押します。センターコンソールのコントロールパネルの番号や文字ボタンも使用できます。
- 2 次の文字に進みます。検索結果が電話帳 (3) に表示されます。

- 3 入力モードを番号や特殊文字に変える場合、または電話帳に進むには、**TUNE** を入力モードの変更 (2) のリストにあるオプションのいずれか(以下の一覧表の説明を参照)に合わせ、**OK/MENU** を押します。

123/A BC	OK/MENU で文字と番号を切り替えます。
MORE	OK/MENU で特殊文字に切り替えます。
⇒	電話帳 (3) に進みます。 TUNE を回して連絡先を選択し、 OK/MENU を押して保存されている番号などの情報を表示します。

EXIT を 1 回軽く押すと、入力した文字が消去されます。**EXIT** を長押しすると、入力した文字がすべて消去されます。

番号キーで入力する



番号キー

文字の入力方法には、センターコンソールのボタン **0~9**、*****、**#**を使用する方法もあります。

例えば、**9**を押すと、バーが表示され、そのボタンに関連付けられている文字¹⁴(**W**、**x**、**y**、**z**、**9**)がすべて表示されます。ボタンを軽く押すと、カーソルがこれらの文字を移動します。

- 目的の文字でカーソルを止めると、その文字が選択され、入力ラインに表示されます。
- **EXIT** を使用すると、削除/変更できます。

番号を入力するには、対応する番号キーを押したままにします。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

音声認識

音声認識機能により、マルチメディアシステム、ラジオ、Bluetooth® で接続された携帯電話やボルボのナビゲーションシステム*の一部の機能を音声で操作することができます。

音声コマンドを使用すると、走行中、運転者は道路と交通状況に集中することができます。

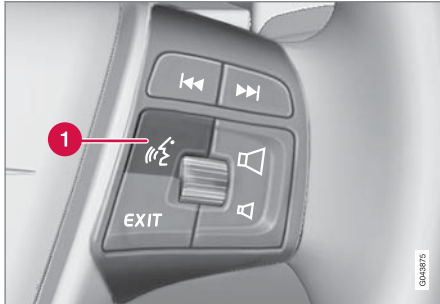
警告

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。

音声認識システムにより、運転者はステアリングホイールを握ったままマルチメディアシステム、ラジオ、Bluetooth® 接続の携帯電話やボルボのナビゲーションシステム*の一部の機能を音声で操作することができます。音声認識コントロールは、ユーザーが発話するコマンドとシステムからの音声による返答との対話形式で行われます。この音声認識システムは、Bluetooth® ハンズフリーシステム(Bluetooth® ハンズフリー電話 - 概要 (p. 56) 参照)で使用するマイクを使用します。音声認識システムの応答は車両のスピーカーから聞こえます。

¹⁴ 各ボタンの文字は、市場/国/言語により異なることがあります。

音声認識を開始する



ステアリングホイールのキーパッド

① 音声認識用ボタン

- 音声認識用ボタン(1)を押してシステムを起動し、音声コマンドの対話を開始してください。システムによりセンターコンソールの画面に、一般的に使用されるコマンドが表示されます。

音声認識システムを使用する際には、以下にご注意ください：

- コマンドを発音するには、トーンが鳴った後通常の音声、通常で速度で発音してください。
- システム応答中は発話しないでください(この間システムはコマンドを理解できません)。
- ドア、ウインド、サンルーフ*を閉めて、車内の雑音を抑えるようにしてください。

① 注意

どのコマンドを使用するかわからない場合は、「ヘルプ」と言うと、その状況で使用できるコマンドをシステムがお知らせします。

ボイスコマンドは、以下の通り解除できません。

- 「中止」と言う
- **EXIT** またはほかのメインソースボタン (**MEDIA** など)を押す。

音量

音声認識システムの応答の音量はセンターコンソールの **VOL** コントロールを使用して調節します。

携帯電話の接続


携帯電話を音声コマンドで操作できるようにするには、事前に携帯電話を Bluetooth®ハンズフリー経由で登録および接続しておく必要があります。携帯電話が接続されていないときに電話コマンドが発音されると、システムによりこれに関する情報が提供されます。携帯電話の登録、および接続については、Bluetooth® 搭載機器の登録 (p. 52)を参照してください。

音声認識の言語オプション

音声認識 (p. 60) に使用できる言語オプションは、メニューシステム MY CAR で選択します。



言語リスト

音声認識は一部の言語でご利用いただけます。音声認識がご利用いただける言語は、言語リスト内で  アイコンが表示されています。言語の変更は、メニューシステム MY CAR (p. 14) で行うことができます。

① 注意

メニューシステム全体の言語設定を変更することなく、音声認識用言語のみを変更することはできません。

音声認識のヘルプ機能

ヘルプ機能は、音声認識システム(p. 60)の操作と音声認識システムへの音声/アクセントの学習方法を説明します。

- **音声インストラクション**:このシステムとコマンドを発音する手順に慣れるようにするための機能。
- **音声トレーニング**:音声認識システムが運転者の声と口調を習得できるようにする機能。この機能を利用すると、1人分のユーザープロフィールを作成することができます。
- **簡易インストラクション**:システムの仕組みに関する簡易インストラクションを読み上げる機能。

① 注意

このインストラクションおよび音声トレーニングは、車両が駐車されているときにしか起動できません。

音声インストラクション

MY CAR(p. 14)の通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → チュートリアル**の順に選択すると、インストラクションを開始できます。

インストラクションは3つのレッスンに分かれており、約5分ですべてのレッスンが完了します。システムはつねに最初のレッスンから始ま

ります。現在のレッスンをスキップして次のレッスンに進むには、**▶▶** を押します。前のレッスンに戻るには、**◀◀** を押します。

インストラクションを終了するには、**EXIT** を押します。

音声適応

システムによりいくつかの語句が表示されるので、それぞれを発音してください。MY CAR の通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → スピーカー適合**の順に選択すると、音声適応を開始できます。

音声適応の完了後、必ず **ユーザー設定** の **トレーニング済みユーザー** でプロフィールを選択してください(p. 62)。

異なる音声認識の言語オプション(p. 61)を選択した場合は、新たに音声トレーニングが必要です。

簡易インストラクション

システムは音声認識用の簡易インストラクションを読み上げます。音声認識用ボタン(p. 60)を押して、「**簡易インストラクション**」と発音すると、インストラクションが開始されます。

音声認識 - 設定

音声認識システム(p. 60)のいくつかの設定を行うことができます。

- **ユーザー設定** - 音声プロフィールは、MY CAR(p. 14)の通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → ユーザー設定**の順に選択すると設定することができます。**デフォルト** または **トレーニング済みユーザー** を選択します。**トレーニング済みユーザー** は、音声トレーニング(p. 62)を行った場合にのみ選択することができます。
- **合成音声速度** - システムのダイナミック(事前録音ではない)テキスト読み上げ音声の読み上げ速度は、MY CAR の通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → 読み出し速度**の順に選択すると変更することができます。**速く**、**中**、**遅く** のいずれかを選択します。
- **音声認識音量** - システム音声の音量を変更するには、**SOUND** ボタンを押し、**TUNE** を **ボイスコントロール音量** まで回して、**OK/MENU** を押します。**TUNE** を回して音声の音量を調節し、**OK/MENU** で設定を保存します。

音声認識 - 音声コマンド

マルチメディアシステムおよびBluetooth®が接続された音声コマンド付き携帯電話の機能を、音声でコントロール(p. 60)することができます。

運転者は音声認識用ボタン(p. 60)を押して、音声コマンドを使って対話を開始します。

対話が開始されると、よく使われるコマンドが画面に表示されます。

運転者がシステムに慣れると、音声認識用ボタンを軽く押して、システムからの応答をスキップして、コマンドの対話を速めることができます。

コマンドはいくつかの方法で実施できません。

メディアプレーヤーでオーディオトラックを検索するためのコマンドは、数段階に分けて行なう方法と、ショートコマンドとして実行されません：

- 「**アイ**検索」と声に出し、システムの応答を待ってから「**トラック**」のように声に出します。

または

- 続けて「**トラック**検索」と声に出します。

関連情報

- 音声認識 - クイックコマンド (p. 63)
- 音声認識 - 携帯電話 (p. 64)
- 音声認識 - ラジオ (p. 65)

- 音声認識 - マルチメディア (p. 65)

音声認識 - クイックコマンド

音声認識(p. 60)操作は、あらかじめ設定されたいくつかのクイックコマンドを使用して実行することができます。

マルチメディアシステムおよび電話のクイックコマンドは、MY CAR(p. 14)の通常ビューで

OK/MENU を押し、**設定** → **音声コントロール設定** → **コマンドリスト** → **グローバルコマンド**、**電話機コマンド**、**メディアコマンド**、**ラジオコマンド** および **ナビゲーションコマンド***の順に選択します。

各コマンドのヘルプテキストには、そのコマンドのソースへの対応状況(すべてのソースで使用可能かどうか、1つのソースのみで使用可能かどうか)が記載されています。

音声認識 - 携帯電話

Bluetooth® で接続された携帯電話をボイスコントロール(p. 60)すると、連絡先への電話や番号のダイヤルなどを行うことができます。

以下の対話は参考例です。システムの実際の応答は、状況に応じて異なることがあります。

番号をダイヤルする

システムは**0**(ぜろ)から**9**(きゅう)までの番号を認識します。これらの番号は、個別に発音する、いくつかのグループに分けて発音する、もしくは番号全てを一気に発音することができます。システムは**9**(きゅう)よりも大きい数字に対応できません。したがって、**10**(じゅう)や**11**(じゅういち)などの数字は使用できません。

音声コマンドを使用した以下の対話により、番号がダイヤルされます。

1. ユーザーが「**番号をダイヤルする**」と発音して対話を開始します。
 - › システムは「**番号を発音してください**」と応答します。
2. 電話番号の数字を個々に発音します(「**ろく、はち、なな**」のように一桁ずつ)。
 - › いったん休止すると、システムは最後に発音された一連の数字を繰り返します。

3. 続けて番号を発音してください。電話番号の数字をすべて発音し終わったら、最後に「**OK**」と発音してください。

› システムは指定された番号をダイヤルします。

番号を変更するには、「**修正**」(最後に発音した一連の数字を消去)または「**消去**」(電話番号全てを消去)と発音します。「**繰り返す**」と発音すると、システムは電話番号全体を読み上げます。

連絡先に電話する

音声コマンドを使用した以下の対話により、電話帳に収録されている連絡先に電話することができます。

1. ユーザーが「**連絡先に電話する**」と発音して対話を開始します。
 - › システムは「**名前を発音してください**」と応答します。
2. 連絡先の名前を発音します。
 - › 連絡先が1件だけ見つかった場合、システムはその連絡先に電話します。連絡先が複数ある場合、システムは目的の連絡先を見つけるために指示を出し続けます。

電話帳で1件の連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、名前の後に「**携帯**」または「**職場**」などのように発音すると、システムは特定しやすくなります。

詳細コマンド

携帯電話の音声認識コントロール用の詳細コマンドは、MY CAR(p. 14)の通常ビューで **OK/MENU** を押し、**設定** → **音声コントロール設定** → **コマンドリスト** → **電話機コマンド**の順に選択すると表示されます。

関連情報

- Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)

音声認識 - ラジオ

ラジオのボイスコントロール(p. 60)では、放送局の変更などを行うことができます。

以下の対話は参考例です。システムの実際の応答は、状況に応じて異なることがあります。

放送局を変更する

音声コマンドを使用した以下の対話により、ラジオ放送局が変更されます。

1. ユーザーが「**放送局を選択する**」と発音して対話を開始します。
 - ＞ システムは「**放送局名を発音してください**」と応答します。
2. ラジオ放送局の名前を発音します。
 - ＞ システムは指定のラジオ放送局に切り替わります。

周波数を変更する

システムは **87.5**(はちじゅうななてんご) から **108.0**(ひゃくはちてんぜろ) までの数字を認識します。

音声コマンドを使用した以下の対話により、周波数を変更されます。

1. ユーザーが「**周波数**」と発音して対話を開始します。
 - ＞ システムは「**周波数を発音してください**」と応答します。

2. 87.5 から 108.0 MHz の範囲内で周波数を発音します。

＞ システムは指定のラジオ周波数に切り替わります。

詳細コマンド

ラジオの音声認識コントロール用の詳細コマンドは、MY CAR(p. 14)の通常ビューで **OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → コマンドリスト → ラジオコマンド**の順に選択すると表示されます。

関連情報

- ラジオ (p. 36)

音声認識 - マルチメディア

マルチメディアシステムのボイスコントロール(p. 60)では、ソースの変更やトラックの変更などを行うことができます。

以下の対話は参考例です。システムの実際の応答は、状況に応じて異なることがあります。

ソースを変更する

音声コマンドを使用した以下の対話により、メディアソースが変更されます。

- ユーザーが「**Disc**」と発音して対話を開始します。
 - ＞ システムが CD/DVD プレーヤーに切り替わります。

その他のソースにも「**Bluetooth**」、「**テレビ**」、「**USB**」などを発音することでアクセスすることができます。変更可能なソースは、その時点で接続されている機器や、ソースに再生可能なメディアがあるかどうかによって異なります。利用可能なメディアソースがない場合、システムはその理由を説明します。

トラックを変更する

システムは **0**(ぜろ) から **99**(きゅうじゅうきゅう) までの番号を認識します。このシステムは **99**(きゅうじゅうきゅう) よりも大きい番号を処理できません。したがって、**100**(ひゃく) や **101**(ひゃくいち) は使用できません。

◀◀ 音声コマンドを使用した以下の対話により、トラックが変更されます。

1. ユーザーが「**トラックを選択する**」と発音して対話を開始します。
 - ◁ システムは「**トラック番号を発音してください。**」と応答します。
2. トラック番号を発音してください(単一番号を使用、例「**にじゅうさん**」、「**に - さん**」は不可)。
 - ◁ システムはアクティブなメディアソースの指定トラック番号に切り替わります。

メディアを検索する

音声コマンドを使用した以下の対話により、メディアが検索されます。

1. ユーザーが「**行17検索**」と発音して対話を開始します。
 - ◁ システムは、考えられる検索カテゴリーの番号付きリストを表示し、「**行番号を選択するか、行17検索のカテゴリを発音してください**」と応答します。
2. 行番号か検索カテゴリーを発音してください。
 - ◁ 目的のメディアを見つけるために、システムからさらに詳しい指示が与えられます。

詳細コマンド

マルチメディアシステムの音声認識コントロール用の詳細コマンドは、MY CAR (p. 14)の通常ビューで **OK/MENU** を押し、**設定 → 音声コントロール設定 → コマンドリスト → メディアコマンド**の順に選択すると表示されます。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 40)

オンライン車両

車両をインターネットに接続すると、ナビゲーションサービス、インターネットラジオ、ミュージックサービスなどが、アプリ (p. 71) や車両の内蔵ウェブブラウザ (p. 72) を使用して利用できるようになります。



車両をインターネットに接続すると、追加のプログラム(アプリ)が利用できます。利用可能なアプリはさまざまですが、アプリのタイプには、ナビゲーションサービス、ソーシャルメディア、インターネットラジオ、ミュージックサービスなどがあります。車両には、インターネットで情報を検索、表示できる簡易ウェブブラウザが搭載されています。

携帯電話を使用してインターネットに接続している場合は、携帯電話の他の機能を利用してテキストメッセージを読んだり、通話することも

可能です。Bluetooth® ハンズフリー電話 (p. 55)を参照してください。

携帯電話およびネットワークプロバイダからインターネット接続 (インターネット接続共有) サービスが提供されている必要があります。契約内容にデータ通信が含まれている必要があります。

① 注意

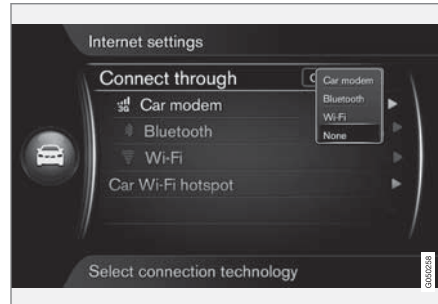
データはインターネット使用時に転送され (データ通信)、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

基本操作については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション (p. 28)を参照してください。

車両をインターネットに接続する



インターネット接続用設定

インターネット接続の初期設定は、インターネットに接続しない設定になっています。接続オプションを選択すると、選択したオプションが保持されるため、ネットワークが利用可能なときには自動的に接続するようになります。インターネットの接続方法を変更するには、別の接続オプションを選択してください。インターネットに自動接続しないようにするには、ネットワーク接続の取り消しを選択してください。

接続オプション (Bluetooth®, Wi-Fi またはカーモデム*)を選択します。

カーモデム*¹⁵

カーモデムを使用してインターネットに接続している場合、Volvo On Call サービスはその接続を利用します。

カーモデムとの接続については、カーモデム* (p. 69)を参照してください。

Bluetooth®

- 最初に、携帯電話を車両に登録して接続する (p. 52) 必要があります。
- 携帯電話のテザリング (ポータブル/パーソナルホットスポット) を有効にします。
- MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。次に、**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定 → 接続方法 : → Bluetooth** の順に選択します。
 > これで車両が接続されました。

この操作以降、車両は利用可能なネットワークに Bluetooth® 経由で自動的に接続するようになります。

画面のシンボル (p. 32) は、現在の接続状況を示します。

ネットワーク接続を取り消す方法については、「ネットワーク接続の取り消し」を参照してください。

車両には最大で 10 個の Bluetooth® ネットワークを記憶させることができます。記憶されているネットワークのリストに空きがないとき、さらに 1 個追加すると、もっとも古いネットワークおよびパスワードがリストから削除されます。

¹⁵ Volvo On Call 対応車両のみ

Wi-Fi



1. 携帯電話のテザリング(ポータブル/パーソナルホットスポット)を有効にします。
2. **MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。次に、**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定 → 接続方法 : → Wi-Fi** の順に選択します。
 - ＞ 利用可能な Wi-Fi ネットワークの探索が開始されます。
3. ご利用のネットワークを選択します。
4. **接続** を選択します。
5. ネットワークパスワードを入力します。
 - ＞ 車両はネットワークへの接続を試みます。

この操作以降、車両は利用可能なネットワークに Wi-Fi 経由で自動的に接続するようになります。車両との接続が切断される(車両を離れて次回使用するまでの間など)と、一部の電話機はテザリングがオフになります。したがって、次回の使用時には電話機のテザリングを再度有効にする必要があります。

画面のシンボル(p. 32)は、現在の接続状況を示します。

ネットワーク接続を取り消す方法については、「ネットワーク接続の取り消し」を参照してください。

車両には最大で 10 個の Wi-Fi ネットワークを記憶させることができます。記憶されているネットワークのリストに空きがないとき、さらに 1 個追加すると、もっとも古いネットワークおよびパスワードがリストから削除されます。

保存されている Wi-Fi ネットワークを削除する

1. **MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。
2. **OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定** の順に選択します。
3. **Wi-Fi** を選択します。
 - ＞ 利用可能なネットワークのリストが表示されます。
4. 削除するネットワークを選択します。
5. **接続情報を削除する** を選択します。
 - ＞ 車両がそのネットワークに自動的に接続されることはなくなります。

すべてのネットワークを削除する

すべてのネットワークを同時に削除することができます。ユーザーデータおよびシステム設定

がすべて工場出荷時の設定にリセットされます。ご注意ください。

工場出荷時の設定にリセットするには、センターコンソールの **MY CAR** を押し、**OK/MENU** を押して、**設定 → 工場設定にリセットする** の順に選択します。

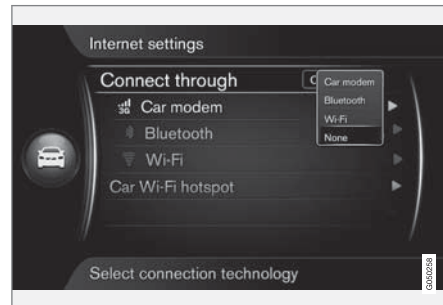
Wi-Fi の技術とセキュリティ

以下のタイプのネットワークのみに接続することができます。

- 周波数 - 2.4 GHz
- 規格 - 802.11 b/g/n
- セキュリティタイプ - WPA2-AES-CCMP

同じ周波数帯域で同時に複数の機器が動作している場合、性能が低下するおそれがあります。

ネットワーク接続の取り消し



OK/MENU を押して、**設定 → インターネット設定 → 接続方法**：→なしの順に選択します。車両はインターネットに接続しません。

インターネット接続なし/接続不良

データ転送量は車内で使用するサービスまたはアプリによって異なります。例えば、オーディオストリーミングはデータ転送量が大きく、良好な接続状態と信号強度が必要です。

携帯電話から車両

接続の速度は、車内の携帯電話の位置によって異なることがあります。信号強度を高めるには、携帯電話を車両のオーディオ・メディアシステムに近づけてください。間に混信がないことを確認してください。

携帯電話からネットワーク

モバイルネットワークの速度は現在地の受信状態によって異なります。トンネル、山間、峡谷、屋内などでは、受信状態が悪くなる場合があります。通信速度はご利用のネットワーク契約によっても異なります。

① 注意

データ転送の問題については、ご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。

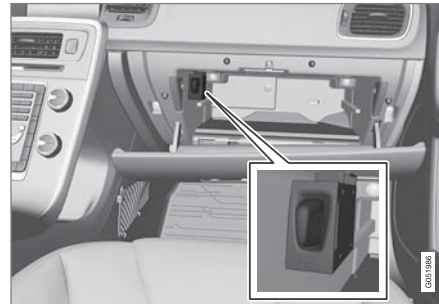
関連情報

- 画面内のシンボル (p. 32)
- 名義変更 (p. 10)

カーモデム*16

車両には、インターネット接続に使用できるモデムが装備されています。Wi-Fi 経由でインターネットに接続することもできます。

インターネット接続



グローブボックス内の SIM カードホルダー

1. グローブボックスの中にあるホルダーに個人用 SIM カードを差し込みます。
2. **MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定 → 車両モデム**の順に選択します。
3. SIM カードの PIN コードを入力します。
 - ＞ これで車両がインターネットに接続され、インターネット機能を使用できるようになりました。オンライン車両 (p. 66) を参照してください。

① 注意

車両の再始動のたびに PIN コードの入力が必要になることを避けるため、PIN コードロックをオフにすることをお勧めします。**MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。次に、**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定 → 車両モデム**の順に選択します。チェックボックス **SIM カードをロックする** のチェックマークを外してください。

① 注意

データはインターネット使用時に転送され（データ通信）、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

インターネット接続を解除するには、**MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。

OK/MENU を押して、**設定 → インターネット設定 → なし**の順に選択します。

Wi-Fi ホットスポットの共有

車両をカーモデム経由でインターネットに接続している場合、他の機器がカーモデムを使用できるように、インターネット接続(Wi-Fi ホットスポット)を共有することができます。

ネットワークプロバイダ(SIM カード)がインターネット接続の共有に対応している必要があります。

1. **MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定 → 車両 Wi-Fi ホットスポット**の順に選択します。

Wi-Fi ネットワーク名(SSID)を入力し、パスワードを入力します。名前に使用できる文字数は6~32文字、パスワードは10~63文字です。名前とパスワードは後から変更することができます。

2. チェックボックスにチェックを入れて車両の Wi-Fi ホットスポットを有効にします。
 > これで外部機器を車両の Wi-Fi ホットスポットに接続できます。

インターネット接続の共有を解除するには、チェックボックスのチェックを外します。

① 注意

Wi-Fi ホットスポットを有効にした場合、ご利用のネットワークプロバイダから追加料金が加算される場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

車両の Wi-Fi ホットスポットには、機器を8台まで接続できます。接続されている機器の数を表示するには、**MY CAR** を押して、ソースの通常ビューを表示します。**OK/MENU** を押して、**設定 → インターネット設定**の順に選択します。



車両の Wi-Fi ホットスポットに接続されている機器の数

車両の Wi-Fi ホットスポットに接続されている機器を表示するには、**MY CAR** を押して、ソー

¹⁶ Volvo On Call 対応車両のみ。

スの通常ビューを表示します。**OK/MENU** を押し、**設定** → **インターネット設定** → **車両 Wi-Fi ホットスポット** を選択します。

Wi-Fi ホットスポットの技術とセキュリティ

Wi-Fi ホットスポットの割り当てには、2.4GHz の周波数帯域が使用されます。その周波数帯域で同時に複数の機器が動作している場合、性能が低下するおそれがあります。

- 周波数 - 2.4 GHz
- 規格 - 802.11 b/g/n
- セキュリティタイプ - WPA2-AES-CCMP
- 車両のモデム用アンテナは、車両のルーフに取り付けられています。

インターネット接続なし/接続不良

オンライン車両 (p. 66) を参照してください。

関連情報

- オンライン車両 (p. 66)
- 画面内のシンボル (p. 32)

アプリ

アプリケーション(アプリ)とは、車両がインターネットに接続されている場合に使用できるアプリケーションです。アプリの種類には、ナビゲーションサービス、ソーシャルメディア、インターネットラジオ、音楽サービスなどがあります。

基本的な使用および操作方法については、システムの操作方法およびメニューナビゲーション (p. 28) を確認してください。

アプリを使用するには、まず車両をインターネットに接続 (p. 66) する必要があります。

車両がインターネットに接続すると、シンボル (p. 32) が画面右上に表示されます。インターネット接続を利用できない場合、画面に表示されません。


① 注意

データはインターネット使用時に転送され (データ通信)、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。



センターコンソールの  を押し、**アプリ** を選択して利用可能なアプリ¹⁷を表示します。リストからアプリを選択し、**OK/MENU** で起動します。

アプリがインターネットから車両にダウンロードされ、そこから実行されます。起動するとアプリは毎回ロード(更新)されます。つまり、アプリを利用するにはインターネットへの接続が必要です。


アプリによる車両の位置情報の共有

アプリによっては位置情報を必要とするものがあります。アプリはGNSS (Global Navigation Satellite System) を利用して車両の位置を特定します。このため、車両の位置はボルボの委託業者に送信されることがあります。委託業者はボルボに代わって業務を担当し、サービスの提供に必要な範囲に限定して位置情報を取り扱

¹⁷ 時間の経過とともに、利用可能なアプリは変化することがあります。また、装備レベルや市場によっても異なります。

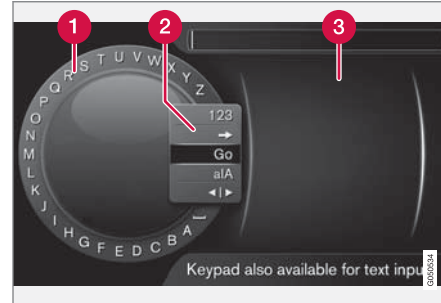
① 注意

走行中にウェブブラウザを利用することはできません。

センターコンソールの接続ボタン  を押し、**ウェブブラウザ** を選択します。

Bluetooth® を使用してインターネットに接続している場合は、Bluetooth® シンボル (p. 32) が画面右上に表示されます。

インターネット接続を利用できない場合、画面に表示されます。

検索機能

テキストホイールによる検索

- ① 文字リスト
- ② 入力モードの変更(次の表を参照してください。)
- ③ 最近閲覧したウェブページ(履歴)

テキストホイールを使用して、ウェブアドレス(例：www.volvocars.com)を入力します。

1. 望ましい文字まで **TUNE** を回して、**OK/MENU** を押して確定します。センターコンソールのコントロールパネルの番号や文字ボタンも使用できます。
2. 次の文字に進みます。

3. 入力モードを数字や特殊文字に変える場合、入力した住所を読み込む場合、または履歴に進むには、**TUNE** を入力モードの変更(2)のリストにあるオプションのいずれか(以下の一覧表の説明を参照)に合わせ、**OK/MENU** を押します。

123/ABC	OK/MENU で文字と番号を切り替えます。
=>	履歴(3)が表示されます。 TUNE を回してウェブアドレス(URL)を選択し、 OK/MENU を押してアドレスへ移動します。
進む	OK/MENU を押して、入力したウェブアドレス(URL)を読み込みます。



a A	OK/MENU を押して、小文字と大文字を切り替えます。
◀▶	テキストホイールから 住所 ：フィールドに変わります。 TUNE でカーソルを動かします。 EXIT を押して、スペルミスを削除します。テキストホイールに戻るには、 OK/MENU を押しします。 コントロールパネルの数字ボタンおよび文字ボタンは、 住所 ：フィールドでの編集にも使用することができます。

EXIT を 1 回軽く押すと、入力した文字が消去されます。**EXIT** を長押しすると、入力した文字がすべて消去されます。

番号キーで入力する



番号キー

文字の入力方法には、センターコンソールのボタン **0~9**、*****、**#** を使用する方法もあります。

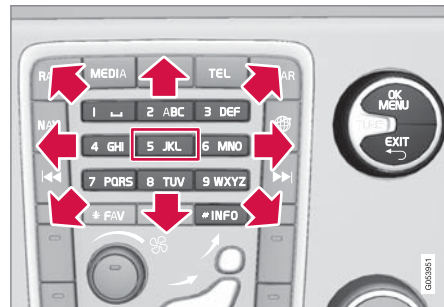
例えば、**9** を押すと、パーが表示され、そのボタンに関連付けられている文字 ²⁰(**W**、**x**、**y**、**z**、**9**) がすべて表示されます。ボタンを軽く押すと、カーソルがこれらの文字を移動します。

- 目的の文字でカーソルを止めると、その文字が選択され、入力ラインに表示されます。
- **EXIT** を使用すると、削除/変更できます。

番号を入力するには、対応する番号キーを押し続けます。

ウェブブラウザ内での移動

TUNE を回すと、リンク間の移動、またはウェブページ上でのスクロール移動ができます。**OK/MENU** を押すと、選択項目/ハイライト表示のリンク先にジャンプします。



ウェブページでのカーソルの移動

センターコンソールのキーパッドを使用すると、ページ上でカーソルを自由に動かすことができます。ページ上部のメニューバーに変更するには、**INFO** ボタンを押します。

センターコンソールの **5** ボタンを使用すると、ポップアップメニューを表示することができます。クリックできない領域にカーソルを移動させて、**OK/MENU** を押す方法もあります。

²⁰ 各ボタンの文字は、市場/国/言語により異なることがあります。

機能

利用可能な機能は、センターコンソールのポップアップメニューボタン**5**からアクセスできます。または、クリックできない領域にカーソルを移動させて、**OK/MENU**を押す方法もあります。

- **戻る** - 前のページに戻ります。
- **次へ** - 前に戻った場合に、元のページに進むことができます。
- **再ロード** - ページを更新します。
- **停止** - ページの読み込みを停止して、戻ります。
- **新しいタブ** - 新しいタブ/ページを作成します。最大4つのタブを同時に開くことができます。
- **タブを閉じる** - タブ/ページを閉じます。
- **ズームイン/ズームアウト** - ページをズームイン/ズームアウトします。
- **ブックマークを追加/ブックマークを削除** - 訪問のたびにウェブページのアドレスを入力する代わりに、そのページへのクイックリンク(ブックマーク)を保存することができます。ブックマークは20個まで保存することができます。
- **設定** - ウェブブラウザの画面の変更および情報管理。詳しくは以下を参照してください。

設定

- **ブックマーク - 名前変更、リオーダー** または **削除**。
- **コンテンツをフィルタリング** - ウェブページがお好みの状態で表示されるように調整することができます。**画像を表示する、ポップアップをブロック、JavaScriptを有効化**の機能を有効/無効にすることができます。
- **クッキーを受け入れる** - クッキーとは、保存されている小さいテキストファイルです。これらはウェブサイトの一部の機能の使用を可能にしたり、ウェブサイトの所有者が、訪問者が訪れたページなどのデータを取得したりするためのものです。
- **文字サイズ** - 使用する文字サイズを **大**、**中**、**小** から選択します。
- **閲覧データをクリア** - **Cookie**、**閲覧履歴**、**キャッシュ**を消去します。
- **FAVキーの設定** - 特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33)を参照してください。

関連情報

- 画面内のシンボル (p. 32)
- 名義変更 (p. 10)
- メニュー概要 - ウェブブラウザ (p. 90)

テレビ*

テレビ映像は、車両が静止しているときにしか表示されません。走行中には映像は表示されませんが、音声は出力され続けます。車両が静止すると、映像が再び表示されます。

システムにはBML(Broadcast Markup Language)対応の12セグメント地上デジタルテレビ受信機が装備されています。「BML - Broadcast Markup Language」(p. 75)のセクションを参照してください。システムは1セグメントにも対応し、可能な場合、受信条件に応じて、1セグメントと12セグメントを切り替えて、同じチャンネルを視聴できるようにします。「セグメントの自動変更」(p. 75)のセクションを参照してください。



テレビ機能、コントロール概要

再生およびナビゲーションに関する基本的な情報については、システムの操作方法およびメ



- ◀◀ ニューナビゲーション(p. 28)を参照してください。詳しくは以下を参照してください。

特定の機能を **FAV** ボタンに関連付けることができます。関連付けられた機能は、**FAV** ボタンを押すだけで起動できるようになります。お気に入り (p. 33)を参照してください。

① 注意

このシステムが対応するテレビ放送は、圧縮方式に MPEG-2 形式または MPEG-4 形式を使用し、DVB-T 規格に準拠している国の放送に限定されます。このシステムはアナログ放送に対応していません。

① 注意

テレビ映像は、車両が静止しているときにしか表示されません。走行中には映像は表示されませんが、音声の出力は継続されます。車両が静止すると、映像が再び表示されます。

① 注意

受信できるかどうかは、信号の強さと質の両方に影響されます。トランスミッションは高い建物やテレビ用トランスミッターからの距離など、さまざまな因子の影響を受けます。受信状態は、現在地によっても異なります。

ⓘ 重要

国によっては、この製品には、テレビ受信契約が必要な場合があります。

ⓘ 注意

このシステムを利用するには、12 セグメントのチャンネルを解読するために、DVB-T (Digital Video Broadcasting Terrestrial) に B-CAS カードを挿入することが必要です。B-CAS カードの設置等については、ディーラーにご相談ください。

テレビを見る

- メディアソースの通常ビューで、**MEDIA** を押し、**TUNE** を **TV** にして、**OK/MENU** を押しします。
 - > 検索が起動し、しばらくすると、直前に使用されたチャンネルが表示されます。


テレビ機能を初めて使用する場合には、チャンネル検索が実行されるまで、画面に**県設定を考慮**と表示されます。検索は 12 セグメントと 1 セグメントの両方で実行されますが、利用できるチャンネルのリストは、選択されているセグメントにより異なります。

チャンネルの変更

チャンネルは以下の手順で変更できます:

- **TUNE** を回すと、その地域で利用できる全チャンネルのリストが表示されます。これ

らのチャンネルのいずれかが既にプリセット (p. 78) に登録されている場合には、プリセット番号がチャンネル名の右側に表示されます。お好みのチャンネルまで **TUNE** を回し、**OK/MENU** を押しします。

- プリセットボタン(0-9)を押します。
-  ボタンを軽く押すと、その地域の次のチャンネルが表示されます。

① 注意

プリセットボタンでチャンネルを選択したときに受信できない場合、車両の現在地が前回のチャンネル検索時およびチャンネルリスト登録時と異なることが原因と考えられます。

他方のセグメントのチャンネルにアクセス

12 セグメントチャンネルが表示されている間にも、1 セグメントのチャンネルが表示されます。これは、以下のように変更できます。

1. テレビモードで、**TV メニュー** → **サービス変更**の順に選択します。

2. **TUNE** を回して **1セグ** にします。**OK/MENU** を押します。

＞ テレビは1セグチャンネルの表示に変更され、画面に以下が表示されます。

- 設定された対応チャンネルで利用できるチャンネルのリスト、または
- 選択したリスト内の最初のエンターで利用できるチャンネルのリスト(対応チャンネルが利用できない場合)

利用できるチャンネルがない場合には、画面に**県設定を考慮**と表示されます。テレビ*チャンネル/プリセットリスト (p. 78)を参照してください。

ワンセグ視聴中に12セグメントチャンネルを視聴する場合も同じ手順で行うことができます。

① 注意

このシステムには自動機能が装備されており、現在利用できずとも状態のよいセグメントに切り替えます。このため、対応する12セグメントチャンネルが利用できる場合には、約20秒後にそのチャンネルに切り替わります。チャンネルが1セグメントに設定される度に、新たに10秒間1セグメントチャンネルが表示されます。

セグメントの自動変更

12セグメントチャンネルの受信が中断された場合や信号が弱い場合には、音声は遮断され、映像もモザイク状に表示されます。このような状況が発生すると、システムにより、対応する1セグメントチャンネルに自動的に切り替わります(可能な場合)。対応する12セグメントチャンネルの信号が再度安定すると、システムにより自動的にこのチャンネルに切り替わります。

① 注意

チャンネルが1または12セグメントで選択されており、2つ目のセグメントに対応するチャンネルがない場合には、システムはチャンネルを変更しません。

BML - Broadcast Markup Language

BMLが利用できる場合には、ヘッダーと、番組情報ウィンドウではフルスクリーンモード時に

① が表示されます。

BMLをオンにするには、テレビモードで、**TVメニュー** → **BML** の順に移動します。

－ **TUNE** を回して **BML** を選択し、**OK/MENU** を押します。

＞ チャンネルを変更すると **BML** がオフになり、選択したチャンネルが表示されます。

関連情報

- 画像設定 (p. 46)
- テレビ*チャンネルの信号が受信できない (p. 79)
- メニュー概要 - テレビ* (p. 92)

テレビ*チャンネル/プリセットリスト

テレビチャンネルの検索は自動的に持続して行われます。受信可能なチャンネルはチャンネルリストに保存されます。チャンネルリストの検索条件は変更できますが、順序は変更できません。プリセットの順序を変更できるプリセットリストもあります。

プリセットリストの変更

プリセットリストに表示されているチャンネルは、順序を変更できます。同じテレビチャンネルをプリセットリストの1つ以上の場所に登録することができます。テレビチャンネルの位置をプリセット内で変更することができます。

1. プリセットリストの順序を変更するには、テレビソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**プリセット**の順に選択します。
2. **TUNE** を回してリスト内で移動するチャンネルに合わせ、**OK/MENU** で確定します。
 - ＞ 選択したチャンネルがハイライト表示されます。
3. **TUNE** をリスト内の新しい場所まで回し、**OK/MENU** で確定します。
 - ＞ チャンネルの位置が交換されます。

プリセットチャンネル(最大 30)の後に、地域で利用できる他のチャンネルが続きます。チャンネルをプリセットリスト内に移動することができます。

検索設定の変更

都道府県の設定は変更することができます。

県を変更するには、テレビソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**県を選択**の順に選択します。

1つ以上の県がこれまでに選択されている場合には、それらの県がリストに表示されます。

1. **TUNE** を回して **その他の県** にするか、または以前に選択した県のいずれかにします。**OK/MENU** を押します。
 - ＞ 利用できるすべての県のリストが表示されます。
2. **TUNE** を回して目的の県を選択し、**OK/MENU** を押します。
 - ＞ 利用可能なテレビチャンネルの自動スキャンが開始されます。このスキャンにはしばらく時間がかかります。選択された県に基づいてチャンネルリストが更新され、利用可能なチャンネルが反映されます。チャンネルを変更するには、テレビ* (p. 75)を参照してください。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

テレビ* - 再生オプション

テレビの設定は変更できます。

字幕を変更する

1. 字幕を変更するには、テレビソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**字幕**の順に選択します。
2. **TUNE** を回して希望の字幕に合わせ、**OK/MENU** を押します。
 - ＞ 選択した字幕が使用できるようになります。

音声言語の変更

1. 音声言語を変更するには、テレビソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**音声種別**の順に選択します。
2. **TUNE** を回して希望のオーディオトラックに合わせ、**OK/MENU** を押します。
 - ＞ 選択したオーディオトラックが使用できるようになります。

CAS 情報

CAS (限定受信システム) 情報を確認するには、テレビソースの通常ビューで、**OK/MENU** を押し、**CAS 情報**の順に選択します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- お気に入り (p. 33)

現在のテレビ*番組の情報

INFO (p. 28) を押すと、放送中の番組と次に放送される番組の開始時間に関する情報が表示されます。

もう一度 **INFO** を押すと、放送中の番組の開始および終了時刻や番組説明など、現在の番組に関する追加情報が表示されることがあります。

テレビの映像に戻るには、数秒待つか、**EXIT** を押します。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

テレビ*チャンネルの信号が受信できない

現在表示されているテレビチャンネルの信号が受信できなくなると、画像が動かなくなります。信号が受信できるようになると、表示を再開します。

現在表示されているテレビチャンネルの信号が受信できなくなると、画像が動かなくなります。しばらくすると、テレビチャンネルの信号が失われたことを示すメッセージが表示され、新たなチャンネル検索が実施されます。信号が戻ると、テレビチャンネルの表示が即座に再開されます。メッセージが表示されている間は、いつでもチャンネルを変えることができます。

メッセージ **受信なし** が表示された場合、十分に受信できないTVチャンネルがあることをシステムが検知したことによるものです。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)
- テレビ* (p. 75)
- テレビ*チャンネル/プリセットリスト (p. 78)

B-CAS

地上デジタルテレビチューナーについて
B-CAS カードについて

本機対応の地上デジタルTVチューナーは、B-CAS カードが内蔵されています。デジタル放送を視聴していただくには「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意する必要があります。内容については、下記をご覧ください。

B-CAS カード使用許諾契約約款 (KB0007D)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのICカード(B-CAS(ビーキャスト)カード)(以下「カード」といいます)が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(以下「当社」といいます)が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器(一般社団法人電波産業会(ARIB)の技術的基準に適合した受信機器)に内蔵されます。当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。この約款は「特別内蔵用B-CASカード」と「特別内蔵用miniB-CASカード」に適用されます。

第1条(カードの使用目的)



- ◀◀ このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第2条(カードの所有権と使用許諾)

このカードの所有権は、当社に帰属します。
2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第3条(カードの故障交換等)

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店(以下「メーカー等」といいます)に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第1条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条(カードの交換依頼)

カードの不具合やシステム変更(バージョンアップ)等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条(契約の終了)

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第6条(禁止事項)

第1条のカードの使用目的に反する機器(例えば著作権保護に対応していない機器)に、このカードを使用することはできません。

2. このカードを使用して、BS デジタル放送や110度CS デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第7条(損害賠償)

お客様が第6条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第8条(約款の変更)

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ(<http://www.b-cas.co.jp>)に掲載します。株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

- 本チューナーは著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権所有者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本チューナーは、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本チューナーの一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。



製造メーカーについて

この地上デジタルテレビジョン放送に対応する受信機は三菱電機株式会社の製造です。


リモコン*

オーディオ・メディアシステムのすべての機能は、リモコンで操作が可能です。リモコンのボタンは、センターコンソールまたはステアリングホイールキーパッド内の機能と同じです。



- ① センターコンソール内の **TUNE** と対応しています。



- ◀◀ リモコン使用時には、まずリモコンの  ボタンを押して **F** 位置にします。その後、センターコンソールの **INFO** ボタン (p. 28) の右側にある赤外線レシーバーに向けて操作して下さい。

⚠ 警告

携帯電話やカメラ、アクセサリ用リモートコントロールなど固定されていない物体は、グローブボックスや収納ポケットに収納しておいてください。急ブレーキをかけたときや衝突事故の際に、乗員がケガをするおそれがあります。

ⓘ 注意

リモートコントロールをダッシュボード上に置くなどして、直射日光にさらさないでください。バッテリーに不具合が生じるおそれがあります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

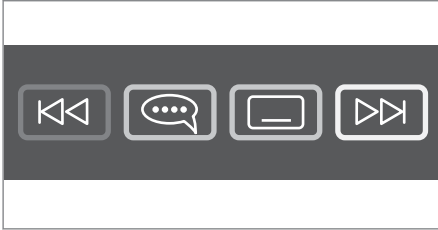
リモコン* - 機能

リモコンで操作できる機能

ボタン	機能
	F = フロント画面 L および R = 選択不可のオプション
NAV	ナビゲーションに変更*
RADIO	無線ソースに変更 (FM1 など)
MEDIA	メディアソースに変更 (ディスク、TV* など)
TEL	Bluetooth®ハンズフリー*に変更
	スクロール/早戻し、トラック/曲の変更
	利用可能な代替ビデオオプション間での切り替え (利用できる場合)
	字幕、テキスト用言語の選択
	早戻し/早送り、トラック/曲の変更
	再生/一時停止

ボタン	機能
EXIT 	前の画面に戻る、機能を取り消す、入力文字を消去する
	上/下方向へ移動
	左/右方向へ移動
OK MENU 	選択を確定、またはメニューシステムに進んで、選択したソースを確定
	音量を下げる
	音量を上げる
VIDEO	利用可能な代替ビデオオプション間での切り替え (利用できる場合)
	BML (Broadcast Markup Language) の起動/解除
CHANNEL SEARCH	利用可能なチャンネルの検索を開始
1-12	プリセットチャンネル、番号または文字入力
INFO #	現在のプログラム、曲などの情報や画面に表示しきれない情報がある場合に使用。

BML (Broadcast Markup Language) ナビゲーション



テレビに使用する場合、カラーボタンには2通りの機能があります。BML (p. 75) を作動していない場合は、機能はボタンの枠の内側の機能です。BML が作動していれば、機能はボタンの枠の色に応じた機能です。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

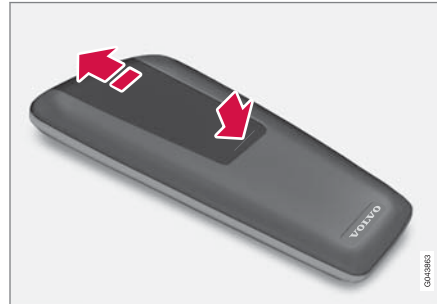
リモコン* - 電池の交換

オーディオ・メディアシステムのリモコンの電池交換方法

① 注意

リモートコントロールの使用状況により異なりますが、電池の寿命は通常 1~4 年です。

リモコンは、単 3 乾電池 4 本を使用しています。長距離のドライブには、予備の電池をお持ちください。



- 電池カバーのキャッチを押し、赤外線レンズの方向に電池カバーをスライドさせます。
- 古い電池を取り出し、シンボルに従って新しい電池を入れます。
- 電池カバーを元通りに取り付けます。

① 注意

使用済みの電池は、環境に安全な方法で処分してください。

オーディオ・メディア - メニュー概要

オーディオ・メディアシステムメニューのオプションおよび設定の概要

メニューバーのテキストが薄灰色で表示されているオプションは選択できません。その理由として車両に機能が搭載されていない、ソースがアクティブではない、接続されていない、またはソースに再生可能な音楽や画像などがなにも含まれていないことが考えられます。

ラジオ

- AM (p. 84)²²
- FM (p. 85)
- DAB*(p. 85)

メディア

- CD/DVD オーディオ (p. 85)
- DVD ビデオ (p. 86)
- ハードディスクドライブ(HDD) (p. 87)
- iPod (p. 88)
- USB (p. 88)
- メディア Bluetooth® (p. 88)
- AUX (p. 89)
- テレビ*(p. 92)

電話番号

- Bluetooth® ハンズフリー (p. 89)



- ウェブブラウザ (p. 90)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - AM

AM ラジオのオプションおよび設定の概要

AM 1 ^A /AM 2 ^A	参照
交通情報	(p. 39)
自動プリセット登録	(p. 38)
プリセット表示	(p. 38)
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
プリセット表示	(p. 38)

^A V60 Twin Engine には適用されません。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

²² V60 Twin Engine および S60L Twin Engine には適用されません。

メニュー概要 - FM

FM ラジオのオプションおよび設定の概要

FM 1/FM 2	参照
TP	(p. 39)
代替周波数	
自動プリセット登録	(p. 38)
プリセット表示	(p. 38)
条件別でラジオ局を同調	(p. 37)
ステーションリスト	(p. 38)
マニュアルチューニング	(p. 38)
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
プリセット表示	(p. 38)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - デジタルラジオ (DAB)*

DAB ラジオ のオプションおよび設定の概要

DAB メニュー*	参照
表示	
アーティスト/タイトル	
プリセット	(p. 38)
なし	
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
トグルスイッチで情報を表示	

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - CD/DVD オーディオ

CD/DVD オーディオのオプションおよび設定の概要

ディスクメニュー	参照
再生/一時停止	(p. 41)
停止 A	
メディア検索	(p. 43)
ランダム再生	(p. 43)
Gracenote®オプション	
Gracenote® database	
Gracenote® の検索結果	
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
再生/一時停止	(p. 41)
ランダム再生	(p. 43)

A DVD ディスクのみに適用されます。



◀ 関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - DVD ビデオ

DVD ビデオのオプションおよび設定の概要

DVD ビデオメニュー	参照
再生/一時停止	(p. 44)
DVD ディスクメニュー	(p. 44)
停止	(p. 44)
字幕言語	(p. 44)
音声言語	(p. 44)
高度な設定	
アングル	(p. 45)
画面比	
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
再生/一時停止	(p. 44)

次の字幕言語	(p. 44)
次の音声言語	(p. 44)

ポップアップメニュー、DVD ビデオ

ポップアップメニューにアクセスするには、ビデオファイル再生中に **OK/MENU** を押します。

画質調整	(p. 46)
DVD ビデオメニュー	(p. 28)
DVD ディスクメニュー	(p. 44)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - ハードディスクドライブ (HDD)

ハードディスクドライブ (HDD) のオプションおよび設定の概要

HDD メニュー	以下のページをご参照ください：
再生/一時停止	(p. 46)
メディア検索	(p. 43)
ランダム再生	(p. 43)
音楽ファイルのインポート	(p. 46)
ディスクから USB から <small>A</small>	
ファイル名の変更/削除	(p. 46)
開く	
名前変更	

削除	
すべて削除	
HDD の情報	(p. 46)
使用容量：	
空き容量：	
容量：	
トラック：	
フォルダー：	
FAV キーの設定	(p. 46)
設定なし	
再生/一時停止	(p. 46)
ランダム再生	(p. 43)

A 市場に応じて異なります。

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - iPod®

iPod® のオプションおよび設定の概要

iPod メニュー	参照
再生/一時停止	(p. 48)
シャッフル	(p. 43)
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
再生/一時停止	(p. 48)
シャッフル	(p. 43)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - USB

USB のオプションおよび設定の概要

USB メニュー	参照
再生/一時停止	(p. 48)
メディア検索	(p. 43)
ランダム再生	(p. 43)
USB パーティションを選択	
FAV キーの設定	(p. 33)
設定なし	
再生/一時停止	(p. 48)
ランダム再生	(p. 43)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - メディア Bluetooth®

メディア Bluetooth® のオプションおよび設定の概要

Bluetooth メニュー	参照
再生/一時停止	(p. 51)
シャッフル	(p. 43)
デバイスを変更	(p. 54)
新規デバイスを検索	
車両を検出可能にする	
FAV キーの設定	(p. 33)
機能なし	
再生/一時停止	(p. 51)
シャッフル	(p. 43)
デバイス1 デバイス2 など	

MEDIA に接続	(p. 51)
デバイスを削除	(p. 55)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - AUX

AUX のオプションおよび設定の概要

AUX メニュー	参照
AUX 入力	(p. 50)
標準	
ブースト	

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - Bluetooth® ハンズフリー

Bluetooth® ハンズフリーのオプションおよび設定の概要

電話メニュー	参照
コールリスト	(p. 57)
連絡先	(p. 58)
メッセージ	(p. 55)
メッセージ通知	(p. 55)
電話を変更	(p. 54)
新しい電話機を検索	
車両を検出可能にする	
デバイス1 デバイス2 など	



電話機に接続	(p. 55)
デバイスを削除	(p. 55)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

メニュー概要 - ウェブブラウザ²³

ウェブブラウザのオプションおよび設定の概要

ウェブブラウザ	参照
開いているタブがない場合、メニューはウェブブラウザの通常ビューで表示されます。	
住所を入力	(p. 72)
設定 「設定メニュー、ウェブブラウザ」を表示します。以下を参照してください。	
ブックマーク1 ブックマーク2 など	(p. 72)

ポップアップメニュー、ウェブブラウザ	参照
ウェブブラウザにページが表示されているとき、センターコンソールの5ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。	
戻る	(p. 72)
次へ	(p. 72)
再ロード	(p. 72)
停止	(p. 72)
新しいタブ	(p. 72)
タブを閉じる	(p. 72)
ズームイン または ズームアウト	(p. 72)

²³ 特定市場に適用

ブックマークを追加 または ブックマークを削除	(p. 72)
設定 「設定メニュー、ウェブブラウザ」 を表示します。以下を参照してく ださい。	
設定メニュー、ウェブブラウザ 上記の2つのメニューのいずれか で 設定 を押すと、設定メニューが 表示されます。	参照
ブックマーク	(p. 72)
ブックマーク1 ブックマーク2 など	
名前変更	
リオーダー	
削除	

コンテンツをフィルタリング	(p. 72)
クッキーを受け入れる	(p. 72)
画像を表示する	
ポップアップをブロック	
JavaScript を有効化	
文字サイズ	(p. 72)
大	
中	
小	
閲覧データをクリア	(p. 72)
FAV キーの設定	(p. 33)
機能なし	
ブックマークを追加/削除	(p. 72)

新しいタブ	(p. 72)
タブを閉じる	(p. 72)

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作
(p. 28)
- オーディオ・メディア - メニュー概要
(p. 84)

メニュー概要 - テレビ*

テレビのオプションおよび設定の概要

TVメニュー	参照
県を選択	(p. 78)
プリセット	(p. 78)
音声種別	(p. 78)
BML	(p. 75)
サービス変更	(p. 78)
1セグ 12セグ	
CAS 情報	(p. 78)
FAV キーの設定	(p. 78)
機能なし BML	

ポップアップメニューテレビ	参照
ポップアップメニューにアクセスするには、テレビが表示されているときに OK/MENU を押します。	
イメージ設定	(p. 46)
輝度： コントラスト： 色：	
TVメニュー	
「TVメニュー」が表示されます。上記を参照してください。	

関連情報

- オーディオ・メディア - システムの操作 (p. 28)

ライセンス - オーディオ・メディア

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、本文の大部分は英語で記載されています。

Sensus software

This software uses parts of sources from clib2 and Prex Embedded Real-time OS - Source (Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994), and Quercus Robusta (Copyright (c) 1990, 1993), The Regents of the University of California. All or some portions are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following

disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This software uses parts of sources from "libtess". The Original Code is: OpenGL Sample Implementation, Version 1.2.1,

released January 26, 2000, developed by Silicon Graphics, Inc. The Original Code is Copyright (c) 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. Copyright in any portions created by third parties is as indicated elsewhere herein. All Rights Reserved. Copyright (C) [1991-2000] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR

ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE. Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

This software is based in parts on the work of the FreeType Team.

This software uses parts of SSLeay Library: Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved

Linux software

This product contains software licensed under GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL), etc.

You have the right of acquisition, modification, and distribution of the source code of the GPL/LGPL software.

You may download Source Code from the following website at no charge: http://www.embedded-carmultimedia.jp/linux/oss/download/TVM_8351_013



◀ The website provides the Source Code "As Is" and without warranty of any kind.

By downloading Source Code, you expressly assume all risk and liability associated with downloading and using the Source Code and complying with the user agreements that accompany each Source Code.

Please note that we cannot respond to any inquiries regarding the source code.

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」)のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、曲名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、あるいは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するため非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆるすべての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのすべての所有権を含む、すべての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使

用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote サービスに関する Gracenote のプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データに含まれるすべての情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおけるすべての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証をいたしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、あるいは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証はいたしません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および知的所有権の非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないもの

とします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、あるいは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

camellia:1.2.0

Copyright (c) 2006, 2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Unicode: 5.1.0

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright c 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in

the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS

◀ ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

関連情報

- ボルボ・センサス (p. 6)

型式認定 - オーディオ・メディア

ラジオ、情報通信、コンピュータ設備の形式認定

Wi-Fi



オーディオおよびナビゲーション装置の適合宣言

Declaration of Conformity

Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513 Japan

We declare, at our sole responsibility, that the following product conforms to the Essential Requirements of the Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in accordance with the tests conducted to the appropriate requirements of the relevant standards, as listed herewith.

Product :	Audio Navigation Unit
Model/Type Number :	NR-IV
Directive and Standards used :	<u>Radio</u> : EN 300 328 V1.7.1 : 2006-10 EN 300 440-1 V1.6.1 : 2010-08 EN 300 440-2 V1.4.1 : 2010-08 <u>EMC</u> : EN 301 489-1 V1.9.2 : 2011-09 EN 301 489-3 V1.4.1 : 2002-08 EN 301 489-17 V2.1.1 : 2008-05 <u>Safety</u> : IEC 60950-1:2005 (Second Edition) + Am 1:2009 EN 60950-1 : 2006+A1:2010+A11:2009+A12:2011

The authorized signatory to this declaration :

Date: 17th July 2013

Signature: *b. f. f. m. e.*

Name: Kanahito Fumao

Title: Manager

Address: Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works
2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513, Japan

The responsible person based within the EC :

Date: 14th July 2013

Signature: *Jan Billing*

Name: Jan Billing

Title: General Manager,
Mitsubishi Electric Automotive Europe, B.V.
Swedish Branch, Technical Center

Address: Ostra Eriksbergsgatan 38, SE41878 Gothenburg, Sweden

関連情報

- オーディオ・メディア (p. 26)
- オンライン車両 (p. 66)

50 音順索引

あ

 アプリケーション(アプリ)..... 71

い

 イコライザー..... 36

インターネット接続車両..... 66

アプリケーション(アプリ)..... 71

インターネット設定..... 23

ウェブブラウザ..... 72

メニュー概要..... 90

インターネットラジオ..... 71

インフォテイメント (オーディオ・メディア)..... 26

う

 ウェブブラウザ..... 72

お

 オーディオ

サラウンド..... 35

設定..... 33

オーディオ・メディア

イントロダクション..... 26

オーディオおよびメディア

概要..... 27

システムの操作..... 28

メニュー..... 28

メニュー概要..... 84

オーディオシステム..... 26

オーディオボリューム..... 28

外部オーディオソース..... 50

速度/ノイズ補正..... 36

電話..... 57

電話/メディアプレーヤー..... 57

電話の着信音..... 57

音声認識..... 60

オンライン車両

カーモデム..... 69

か

 画像設定..... 46

け

 携帯電話、電話を参照..... 52

こ

 コントロール

センターコンソール、ステアリングホ

イール..... 28

さ

 サウンドステージ..... 35

サポート..... 10

サラウンド..... 35

し

 信号入力、外部..... 27, 48

シンボルマーク

画面内..... 32

す

 ステアリングホイール

キーボード..... 28

ステアリングホイールのキーボード..... 28

つ

通常ビュー.....	28
通話	
操作.....	55
着信.....	55

て

電話	
接続.....	52
着信.....	55, 57
電話帳.....	58
電話帳、ショートカット.....	58
電話をかける.....	55
ハンズフリー.....	55
電話をかける.....	55

と

トラフィックインフォメーション - TP .	39
------------------------	----

は

ハードディスクドライブ (HDD).....	46
------------------------	----

バッテリー

リモートコントロール.....	83
-----------------	----

ふ

ブロードキャストマークアップランゲージ (BML).....	75
--------------------------------	----

ほ

ボルボ・センサス.....	6
---------------	---

ま

マイクロフォン.....	56
--------------	----

め

名義変更.....	10
メディア検索.....	43
メディア Bluetooth®.....	51
メディアプレーヤー.....	40
対応するファイルフォーマット.....	47
メニューナビゲーションオーディオおよびメディア.....	28

ら

ラジオ.....	36
DAB.....	36

り

リモートコントロール.....	81
電池の交換.....	83

A

AUX 入力端子.....	27, 48
---------------	--------

B

Bluetooth®	
ストーリーミングオーディオ.....	51
通話を携帯電話に転送.....	57
ハンズフリー.....	55
マイクロフォンのミュート.....	57
メディア.....	51

C

CD..... 41

D

DAB ラジオ..... 36

DVD..... 41

I

iPod®、接続..... 50

M

MY CAR..... 14

インターネット設定..... 23

インフォメーション..... 24

エアコンディショナー設定..... 23

サーチパス..... 15

システム設定..... 21

車両設定..... 17

ドライバーサポートシステム..... 20

ボイスコントロール..... 22

メニューオプション..... 15

S

Sensus..... 6

T

TV..... 75

U

USB、接続..... 50

USB 端子..... 48

V

Volvo ID..... 11

W

Wi-Fi..... 69

